京城日報 朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社 京城日報社

天津特別行政區撤回

【天津廿八日同盟】天津特別市では卅日の租界還附を前にして廿八日特別行政區組織を撤回し新に天津特別市區長を任命、また特別行政區形務所を廢して特別區警察局分局を設置、分局長を任命した、これにより從來の特別行政區財政も一般財政に編入されることゝなつた

在支軍管理工場 二十四件を返還
近く事務手續を完了

【南京廿八日同盟】帝國政府は支那事變以來わが皇軍管理下におかれてゐた英米系敵産及び大東亞戰爭勃發以來の英米系新敵産の處理について、曩に日華兩國の趣旨に則り國府支援の立場から可及的速かに國府移管を期し、その實現をはかりつゝあつたが、新敵産は一千餘件に上り、廢餘軍管理工場廿四件の返還も決定、國府還都三周年記念日を前に廿八日大使館より次の如き當局談を發表した

大使館當局談 今次事變に當り日本軍に於いて管理したる中國側工場に關しては夙に返還の方針を徹底し修理に當り來り、既にその大部分の返還を了せり、而して敵産中の工場についてはこの際一括急速に返還を完了すべく國民政府當局と協議を進め來りしが、このほど二十四工場に對する處理方針に基き近く事務的手續を完了する運びとなれり、國民政府還都三周年を控へこゝに殆ど全部の軍管理工場を返還し得ることゝなれるは彼我のため慶賀に堪へざるところにして、中國側關係者に於いても克く返還の趣旨に基き生産力增强、中國經濟復興に寄與せられんことを期待してやまざる次第なり

周佛海氏回答
國民の擔税力增加
戰時增税、赤字公債の必要なし
國府今後の財政政策

周佛海氏

【南京廿八日同盟】參戰國府の大台所を一手に切廻しその政治力の抵抗に指導的役割を演ずる財政部長周佛海氏は最近病氣靜養中であるが、同氏に一、還都三周年を迎ふるに際し國府今後の財政政策に關する方針 二、日本の對支政策實施及び日華關係新段階と國府の對重慶工作に對する所見 をたゞしたところ病床より自筆をもつて左の如き回答を寄せた

◇

一、國府は還都以來和平運動の一貫せる方針にもとづく同甘共苦の大道を堅持するに決し、その後中日國交關係は大東亞戰爭及び國府參戰により益々緊密化を加へたが、これに伴つて國府の財政經濟政策も著しい進展を遂げた、今後國府の財政經濟は重點的統制を强化し戰爭完遂に向つて集中努力することにある、從つて財政上の一切の處置經濟機構の調整も悉くこれを戰力强擴の方向に集中しなければならぬ、最近わが國民の納税義務に關する認識は深くなり、その擔税力が增加したため税收は豫期の成績を收むるに十分である、從つて今後緊急支出がない限り戰時增税や赤字公債を發行する必要を認めない、昨年田賦の改正と清郷工作の進展により地方税收は著增し、一方財政機構も健全となつたため收入は好轉を示してゐる、この結果直接には中央の負擔を輕減し間接には中央の財源を培養することゝなり、財政政策の運用に益するところ甚大である、なほ事變以來各地に行はれた税種は極めて多かつたが國府還都後逐次これらを整理したので、民生の安定に寄與すること大なるものがある

經濟政策については、關聯するところ極めて廣汎で簡單に説明することは出來ない、たゞしわが國目下の情勢より論ずれば經濟政策の重點を農業の獎勵、工業の振興、商業の繁榮及び物資の交流、鑛山の開發、牧畜、林業の獎勵などに置きこれを併進せしむべきである、これについては先づ十分なる資材の供給をはかる必要があり、これがためには消費節約をはかるとともに財政經濟機構の十分なる運用を期することが肝要である

二、國父孫先生の遺囑が示す如く中國革命の目的は中國の自由平等を求むるにあり、中國の自由平等を得るには先づ不平等條約を撤廢しなければならぬ、今回友邦日本が租界返還、治外法權を撤廢し各種不平等互惠の新政策を實行したことは、日本がわが國に對する不平等條約の束縛を取消し、平等を以てわれを遇せんとする誠意を證するものである、故に中華民衆は日本の眞意を理解し、日本と協力して共同の目的である戰爭完遂に邁進しなければならぬ、さうすれば重慶側の民衆も翻然過去七ケ年の抗戰の無意味なることを自覺し相共に光明に向つて邁進することにならう、救國の途は所詮一個人、一團體から出發してこれを集團に擴大し、以て救國救民の精神を培養してゆかねばならぬ、かゝる見地より中日關係が重慶政權及びその治下の軍、政、工、商、各方面と一般民衆の心理に與へた影響は極めて大なるものがある

撃沈二百、撃墜破三千二百
伊空軍・參戰以來の綜合戰果

【ローマ廿七日同盟】廿七日のローマ各紙はイタリー參戰の一九四〇年六月十日から本年二月末までのイタリー空軍の戰果並に損害を次の如く發表した

◇戰果 撃墜或は地上撃破三千三百機、撃墜確實と認めらるるもの九百五十八機、撃沈艦艇六十五隻、同船舶百三十八隻

◇損害 戰死千六百九十六名、負傷千九百二十一名、行方不明二百五十七名、捕虜六千六十七名

空軍廿周年記念日

【ローマ廿七日同盟】イタリー空軍は三月廿八日をもつて創設廿周年記念日を迎へるが空軍次官フーヂエ將軍は廿七日全空軍將兵に布告を發し、ム首相が廿年前空軍を創設して以來、今日までにイタリー空軍が三度大戰に參加し人的にも機材の點に於いても著しい進歩發達を遂げた點を指摘し、今日の空軍は前大戰戰歿勇士の偉業を受けつぎ不拔の決意をもつて今次戰爭に勝ち拔かねばならぬことを强調した

京日論壇
米穀配給統制への考察
=備荒貯穀の檢討=
田村浩

一

米穀配給統制は富める者も貧しきものも差別なく飯米を配しからしめる良政である。そのはじめの統制に當つては米の數量に對する需給によつて自由價格が著しい騰落を示し、これによつて農民と消費者の生活に影響するところが大きいために、法力をもつて適正たらしめる價格統制を必要とした。即ち豐年には農民のために最低價格を維持し、凶年には消費者のために最高價格をもつて抑制し價格の平準化を期したのである。政府が曾て糧貯藏と拂下米制度を施行したのは數量を調節することによつて價格統制の目的を達するためであつた。

今日の戰時體制における米穀配給統制は急激せる米穀需事情によつて、從來の最高と最低の價格統制から公定制へ飛躍し、消費統制へ飛躍的に發展し日滿華自主體制を根幹として國家管理をもつて戰時國民生活の確保安定を使命とするものである。

二

かくして米穀の戰時國家管理は農民に對しては一般消費者と同じく自家消費を限度として、いはゆる供出米を要求せられてゐる。一般消費者にあつては增産に邁進する生産者と共に最低の限度を甘受せねばならぬのは必然的といはねばならぬ。

こゝに及んで米穀の增産と規正は五大重要産業の增强と並んで當面せる戰爭完遂の重要問題として意義深いものといふべきである。

曾て筆者は内地の東北にあつていくたびか冷害による凶作に直面しこれが施策に腐心し苦い經驗を有した。半島農村は不幸にして昨夏の旱魃による凶作に遭つてゐる。最近凶作地の農民部落を巡つて撃ちてし止まむの氣魄を持つ默々とした農民の姿に感激した。こゝに封建經濟及び自由經濟時代における凶作と今日を比較して米穀配給統制に付て大なる反省を必要とする檢討を試みたい。

三

德川末期における天明飢饉は封建經濟の慘澹たる餓死者を見た。南部及び津輕藩に死者數萬を算したことが記錄されてゐる。所々に散在する『餓死萬靈塔』はこれを記錄すると共に實證してゐる。朝鮮にあつても餓死者は李朝末期の密陽郡下に萬を算したと傳へられてゐる。

交通不便又は杜絶された封鎖領域内の凶作の恐るべきことは過去に於て米食をもつてするわが内地も、朝鮮も、支那も祖先が體驗しつゝ來つたところのものである。支那及び日本古代における常平倉、社倉、義倉は朝鮮の社還米制度と同じく豐作には餘剩米を國においてまた郷村において貯穀し、米價を平準にすると共に、春窮期又は凶作時にこれを解放して窮民救恤に充てた、明治以來貨幣經濟と交通機關の發達に從つてこれ等の備荒共濟制度は漸次に廢絶してしまつた。

昭和七年、九年の内地東北の凶作には國府といふべき政府所有米の五十萬石近くを解放し、主として東北農民に五ケ年間に返米を條件として貸付けて救恤の實を擧げたのである。古來の良政とする備荒共濟の郷倉制度の復興によつて今日東北六縣各農村部落に國營百數十萬圓をもつて五十棟の木造郷倉は建てられ『恩賜郷倉』として農民は凶作時の救恤米をこの貴き郷倉に毎年積穀し、昭和十四年の米饑饉に際し大量を解放し大都市を救つたと報ぜられてゐる。朝鮮にも郷倉は當時の社還米制度が復興されつゝあつたと聞いた。『讓吸倉』は今尚地方にその跡が遺されてゐる。

郷倉は備荒共濟施設であつて今日の米穀配給制度下に果して之が存續を必要としないであらうか。

筆者がこゝに提唱したいのは米穀には豐凶があり人爲をもつて机上で左右し得ないことはいふまでもない。朝鮮における十四年と昨年の凶作はその年のはじめに何人も豫測し得ざるところであつた。十四年には未だ配給統制は嚴格なるものでなく自主統制によつて運營されてゐた。富める者は貧しき者を救恤しいはゆる隣保共濟の實を見ることができた。地主がその所有米の一部を貧しき小作人に惠み部落の共濟が可能であつた。

しかるに今日にあつては、富める者も貧しきものと同じき配給を受け、そこに隣保相扶のゆとりが鎖されてゐる。極言すれば今日の一元的米穀配給は封建的な個人主義の一面を持つといふ見逃しがたい樣相があり、生産者も消費者の立場において個人主義に傾くといはねばならぬ。農村部落は大地主も、小作人も貧しき飯米であつて備荒貯穀の餘裕はない。ここに省察すべきは凶作後の農民は必然的に共濟施設を求めるのであつて、東北の郷倉復興はこれを實證してゐる。

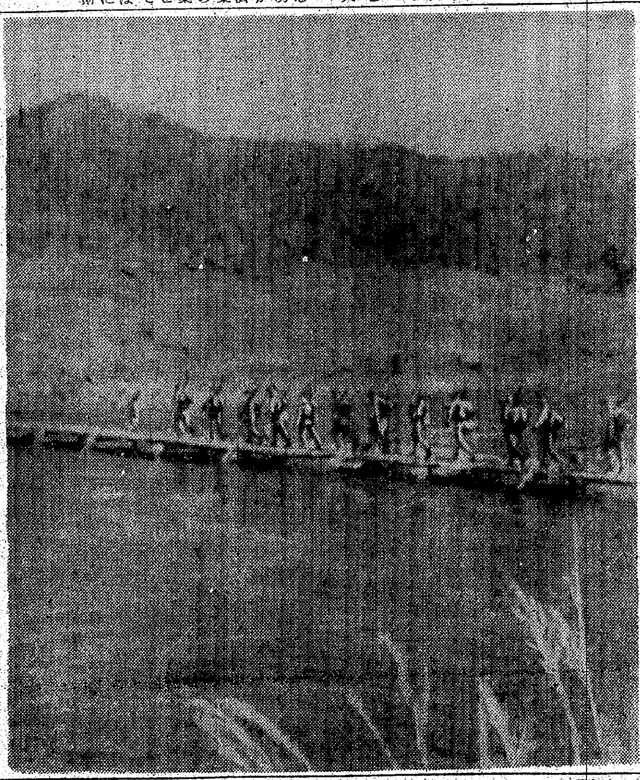
四

要約すれば今月の配給統制において農民の供出米の一部と自己消費米の一部を合はせて部落に非常保有米として共同貯穀を行はしめるといふことである。これが運營によつて戰時又は凶作非常時に共濟することは第一に餓死線にある窮民を非常救濟し、第二に農民をして一定の供出米を容易ならしめ第三に生活に安定感を與へ勇んで增産に邁進すべく第四には個人的傾向を協同的ならしめ、第五に春窮期における計畫的貸付を行ふとによつて過食の通弊を匡正し得る等の効果を望むことが出來る。

この施設に當つて注意すべきは一元的配給統制の不動方針は搖ることなく保管米の一部を部落の共同保管とし、面長と部落區長、聯盟役員の責任の下に一定の計畫を指導することによつて運行せしめるといふことにある。凶作窮民の救濟に最も愼むべきは救濟に馴れしめてはならぬことである、自主更生は農民の戰時意識の昂揚でなくてはならぬ。

すでに郷倉制度は古來の良法として東洋政治における不易の自主的な備荒共濟施設であつた。ひるがへつて米穀の一元的統制が封建的な一面を持つことを否定することはできない。道外搬出は禁制であり、更に郡、面、洞里において施策の途は鎖されて個人の保有といふ封建經濟の姿を示しつゝあるからである。

こゝに當面せる凶作救恤の速急なる施策として統制米の一部を面洞里に還米し、共同貯穀の基本米たらしめ總力聯盟役員による毎戸の飯米計畫を部落において樹て、これを貸付け、豐作時に返還せしめることを提唱したい。これは古今の歷史を現實に照應し檢討を試みたものであつて、この制度は新しいものではなく、朝鮮においても前に述べたごとく社還米として遠く祖先が洞察の地緣によつて平時の春窮期と凶作時に賑恤し來つた生活安定の良法であることを明かにしておくものである(筆者は經濟學博士、朝鮮商工會議所理事)


高黎貢山脈を右に見て曲名江を渡河進擊する皇軍(雲南前線にて、陸軍省檢閲濟=電送=)

獨ソ戰線
獨軍、攻勢を堅持
ドネツ河西岸 掃蕩戰愈々進む

【ストツクホルム廿七日同盟】廿六日東部戰線では各地區とも戰鬪の規模が小さくなり特記すべき戰鬪は行はれなかつた模樣だ、これは泥濘のため中南部戰線では殆ど作戰行動が不可能になつたこと及び獨ソ兩軍ども過去四ケ月にわたる激戰の後をうけ部隊の再編成に努めつゝあるためと見られる、營地に達した情報を綜合すると各地區の戰況左の通り

南部地區 オリヨール西南セプスク地區の赤軍はクールスク方面から有力な增援隊を得て攻撃に出たが、獨空軍の猛反撃に遭ひ戰車一個旅團を完全に殲滅され更に步兵二個師は大損害を蒙つて退却、クールスク西北方では獨軍戰車並に戰車擊滅兵隊は過去二日間に戰車廿一台を擊破し、更に戰果擴大した、一方ビエルゴロドからチユグエフに到るドネツ西岸の掃蕩戰はいよ〳〵最後的段階に入つた模樣で、特に廿六日ハリコフ東南方では獨軍はドネツ西岸に殘存する赤軍を完全に驅逐し戰車廿五台、砲五十門、その他武器多數を鹵獲乃至破壞した、クバン河下流では赤軍は戰車十六台を有する强力な步兵部隊をもつて獨軍陣地に殺到して來たが、獨軍はこれを擊退し戰車十四台を擊破した

中北部地區 目下戰鬪はスモレンスク東方五十粁のドルコーブジ附近及びスモレンスク北方三十一粁デユイスキナ地區で行はれてゐる模樣だが、兩軍とも獨軍の勇敢と地形の困難に加ふるに泥濘のため赤軍の前進は全く停頓し、モスコー情報も『獨軍の猛烈な反擊によりコネフ軍の前進は著しく緩慢し、またビヤジマ西南方では道路の惡化のため赤軍部隊の戰鬪も思ふにまかせない』と報じ、早くも逃げ口上を述べてゐる、ラドガ湖南方及びレニングラードでは獨軍砲兵隊の活躍目醒しく、レニングラードでは市内の鐵道施設發電所などに砲撃を加へ、多大の損害を與へた

空軍 廿六日獨軍は南部戰線に主力を集中し爆擊機隊は赤軍輸送部隊及び鐵道に有効な爆撃を加へ、急降下爆撃並に戰鬪機隊は赤軍の密集部隊、戰車隊を痛擊、一飛行場では飛行機七台を地上擊破した、オリヨール西南セプスク北方でも赤軍の集結地數ケ所を空爆、多大の損害を與へ、またムルマンスク鐵道を二ケ所で折斷、空中戰では敵機二十台を擊墜した

市民に强制疎散令
重慶、わが空襲に恂々

【廣東廿八日同盟】空襲季節に入り、さらでだに見えざる日本機の幻影に戰々兢々たる重慶では、更に最近はわが陸鷲の活潑なる活躍に恂れをなし過般來防空對策に汲々たる有樣であるが、重慶來電によれば、重慶當局は廿七日重慶市人口疎散委員會を組織し市長賀國光が主任委員となり疎散總隊を指揮して四月一日から積極的に疎散を實行することゝなつた、なほ疎散は一日から十五日までを勸誘期間、十六日から三十日までを督促期間とし五月一日からは强制的に疎散を命ずることになつてゐる

蝦で鯛釣る米
武器貸與法を楯に 英の基地を掠奪

【ブエノスアイレス廿六日同盟】米國政府は太平洋上の基地を獲得して世界制霸の野望を達成しようとし濠洲政府並にニユージーランド政府と頻に交渉を重ねてゐると傳へられるが、フイヤデルフイヤ・インクワイヤラー紙の報道によれば、海軍長官ノツクスは國務省の東亞局と合作し太平洋の基地獲得に關する具體案を協議してゐると傳へられる、ノツクスの企圖するところは、五十隻の老朽驅逐艦を引換へに事實上大西洋上の島嶼基地を英國政府から捲き揚げたのと同じ手段により、武器貸與法を楯にして英帝國の太平洋上における基地を巧にとりあげて仕舞ふといふ魂膽といはれる

中南部で激戰
アフリカ戰線

【リスボン廿七日同盟】廿六日チユニジヤ北部戰線に於いては兩軍の活潑な交戰は見られなかつたが、メジエス・エル・バブ周邊の英軍は中部チユニジヤ北部地區並にウーセルチヤ溪谷ピジョン方面の米軍とともに攻擊準備を整備してゐる樣子だ、同方面の英軍は最近英本國から到着した新鋭部隊をもつて增强されてゐる樣子で、中南部戰線における攻勢と呼應する反樞軸線の北部における本格的攻勢が豫想される

中部戰線 においては兩軍は依然激戰を展開してをり、米軍はマクナッシーにおいて獨先遣部隊を包圍せんと企圖したが、獨軍はこれを完全に擊退した、一エル・ゲツタール地區に於いても米戰車部隊は獨伊陣地を攻擊し來つたが、獨軍は之を擊退、米戰車八台を炎上擱坐せしめると共にジエーベル・ベルダに於いても米軍を西北方に後退せしめたといはれる、一方ショット・ジエリド鹹湖地帶からガベス灣に向け東方に延びてをりジエーベル・テバガサ山脈の南部地區に於いて有力な英戰車部隊が廿六日午後獨步兵師團陣地に大規模な攻擊を開始、現在までのところ僅かに若干地點において突入を許したが戰略的要衝は悉く死守してゐる、英軍は人的物的に大損害を蒙つた樣子で前線報道によれば僅か數キロの一地區のみで英軍は戰車三十七台を喪失したといはれる

南部戰線 においてはマレス線の東南側に對し英軍は攻擊を續行、樞軸戰車部隊は前衞陣地から若干戰略的後退を餘儀なくされた樣子であるが、戰局には大して影響を與へてゐない、チユニジヤ全戰線にわたつて樞軸空軍は依然猛活躍を行つてをり、廿六日アルジエーを空襲して港灣施設に巨彈を浴びせると共に南部戰線に於いて猛烈な砂嵐を衝いて英補給部隊を爆擊して有効な成果を收めたといはれる

護送船團襲擊
アルジエー沖の獨空軍

【ローマ廿七日同盟】伊軍司令部は廿七日次の戰況を發表した

一、チユニジヤ戰線中南部地區では依然戰鬪繼續中であり樞軸空軍は地上部隊と協力、敵後方陣地その他集結中の貨物自動車群に爆擊を加へ、獨空軍戰鬪機隊は空中戰で敵六機を擊墜した

一、獨空軍はアルジエー沖で敵護送船團を襲擊商船三隻に命中彈を與へ、さらにアルジエー港でも建物、倉庫を爆擊した

イーデン、米大統領と會見

【ブエノスアイレス廿七日同盟】ワシントン來電=英外相イーデンは米各地の軍事施設を視察したのち廿七日ホワイトハウスに於いて再び大統領ルーズベルトと會見した、右會見には國務長官ハル、國務次官ウエールス、英國大使ハリフアツクス、目下渡米中の駐英米國大使ワイナント、大統領特別顧問ホプキンスなども列席、當日の會談は頗る長時間にわたつたが、右會談終了後國務長官ハルは次の如く語つた

本日の會談はイーデンの訪米以來數次にわたり行はれた米英會談の續行である、前回に引續き米英兩國の直面する各種の問題が協議されたが、これが最終的なものではなく今後も同種の會談が引續き行はれるだらう

なほイーデンは大統領の賓客として週末をホワイトハウスに過したのちオツタワに向ふ豫定である

カトルー・ジローと會見

【リスボン廿七日同盟】アルジエリー來電によれば廿六日海路アルジエリヤに到着したドゴール派の西阿政府代表カトルーは、廿七日北アフリカ中央政權主席ジローと會見、兩者の統合問題について協議を行つた、會見の内容に關しては双方とも一切言明を拒否してゐるが、兩者の歩み寄りを第一段階として特にドゴールの北アフリカ訪問に關し打合せを遂げたものと察される

佛勞働者を移入
獨、俘虜との交換進む

【ベルリン廿七日同盟】フランス勞働者のドイツ移入計畫は着々實効を上げつゝあるが、廿七日獨側關係當局は右勞務供出計畫が遲滯なく完遂された旨發表した、これによれば三月卅一日をもつて終る計畫年度においてドイツより要請された勞務工數は既に計畫數に達し、ドイツ當局はフランス當局の積極的協力に對し深甚の謝意を表してゐるが同樣にドイツの要求する未熟練工供出もほゞ要求人員に達してゐる、一方勞働力供出の代償として、これと交換條件となつてゐるドイツのフランス人俘虜釋放も着々進捗し、追加釋放部隊人員三千名に上るフランス人俘虜が最近フランスに歸還した、さらにドイツにあつて勞働に從事してゐるフランス人俘虜取扱に關しても近く或る程度の緩和策がとられる豫定といはれる、また現在ドイツに俘虜として抑留中のフランス人中醫師、齒科醫、醫學生、藥劑師が近くフランスに送還される手筈となつてをりフランス當局を感激させてゐる

爆擊隊員に"防彈衣"
流石は米

【ワシントン廿七日同盟】ロンドン來電=アメリカ陸軍第八航空部隊司令官少將イーカーは廿六日ロンドンに於いて『アメリカ陸軍爆擊機搭乘員は現在防彈のため鋼鐵製のチヨツキ、鐵兜を着用してをり、これら防彈裝備は廿ミリ機彈に耐へ得るものである』と言明した

朱鴻達大隊長以下
翻然悔悟、國府陣營に參加

【濟南廿八日同盟】膠濟沿線周村西北鄒家山、白雲山一帶に盤居し周村附近長山縣一帶に共產勢力の扶植に努めてゐた共產軍清河大隊長朱鴻達以下百廿八名は、國府の大東亞戰爭參戰を契機として翻然悔悟し周村附近にあるわが○○部隊に國府陣營參加を申出でたので廿六日午前十時より同部隊において國府陣營參加式を擧行した、なほ朱鴻達は國府陣營參加とともに聲明書を發表、いまなほ共產陣營にある舊戰友に勸告を披瀝、切にその反省を求めたが、同部隊は清河地區に於いて最新鋭部隊の名を冠はれ從來敵清河軍司令部の補給はすべて同部隊により行はれてゐたもので、同部隊の國府陣營參加により清河地區の困窮は愈々深刻化するに至つた

入學と進級の記念に
眼に良い明視スタンドを!
營業時間 開店午前九時 閉店午後七時
マツダランプ
京城賣店 本町2ノ108・電(本)4355
釜山賣店 辨天町2ノ43・電4775
B24

のんで治せ
不治と諦めた眼病に光明
眼球の視力が日々減衰し眼球が石の如くかたく目がカスミ眼前に虫が飛ぶ様に見え片眼から兩眼を侵し遂には失明となつた例もあるつらい病である
御困りの方にのんで治す良藥を…と申越次第説明書無代で進呈致します
狠獸劑 三週間九円 五週間拾四円 送料各卅錢
明石市相生町郵便局東 眼科專門藥院
代理店 小林・丹平・高橋
内服 狠獸劑 目藥 そこひ ほし目 青ソコヒ 白ソコヒ

文藝春秋 四月號 特價四十錢
日本の神と道 座談會 田中忠雄 宮本誠三 大槻正男 牧野吉晴 神田孝一 和田傳
文化威儀の眼目
青年何を爲すべきか
戰爭と無駄の効用
日本の農民 庶民の想へ 清く明るき心 農民二題
皇國農村論 館稔
先人顯彰の精神 荒木精之
歌心の誠 谷馨
わが愛讀文章 菊池寬
話の屑籠 菊池寬
(小說)旅愁 横光利一
近衞篤麿のこと 山田孝雄

謹告
今般兩行合併シ新ニ株式會社帝國銀行ヲ設立ノ上一切ノ業務ヲ承繼シテ來ル四月一日ヨリ從來ノ店舗ニ於テ一齊ニ營業ヲ開始シ金融報國ニ邁進可致候間一層ノ御眷顧ヲ賜リ度此段謹告仕候
追而兩行ノ預金證書通帳小切手等ハ其儘新銀行分トシテ御取扱可申候間別ニ御取換ニ及ビ不申候
昭和十八年三月
株式會社 第一銀行
株式會社 三井銀行

實業之日本 四月一日號 定價四十錢 送料三錢 東京京橋銀座西一ノ三 實業之日本社 振替東京三二六番
民防空・どう勝ち拔くか 座談會 內務省・東京市・民間新聞社の防空權威五氏
決戰下の經濟機構と經濟組織 杉山清
現代戰と國防立地 横田弘之
實力と實行 伍堂卓雄
人事交流と技術交流 相川春喜
敵愾心・經濟生活・陣頭指揮
生活決戰と思想決戰 川原次吉郎
戰力增强の根本 增田義一
本當の生き方
斷食の科學 式場隆三郎
武士と實生活 佐伯有義
南方進出と疫病 宮島幹之助
南方進出の現況とその方法 永井末吉
戰爭と投資 ▼株式所有者の責任 ▼不動產所有者の責任

公論 四月號 八十錢 第一公論社
尊攘言論の決戰態勢 座談會 尾崎士郎・大串兎代夫・塚原富衞・齋藤瀏・滿田巖・島田春雄・山岡莊八
皇民教育論 鈴木重雄
回教民族の動向 大村謙太郎
神武維新史 佐藤堅司
「撃ちて止まむ」の由來と意義 森清人
皇國勤勞道 作田莊一
老龍記(創作) 中谷孝雄
國際聯盟脫退十年 長谷川進一
滿洲義軍奮鬪錄 鶴岡永太郎 石光眞人

社說 戰意昂揚への皆唱運動

一

國民總力朝鮮聯盟が提唱し、朝鮮音樂協會と相携へて、陽春四月から全鮮に展開すべき國民皆唱運動は、既に京城に開催の戰意昂揚國民大合唱音樂會によつて、その火蓋は切られたのである。このことは既に内地にあつても大政翼贊會の手によつて全國的に繰展げられつゝあるところで、今回の皆唱運動はそれに呼應して、その實施普及により、戰爭生活に挺身すべき國民をして、戰ひ拔く戰力生活を堅確せしめ、明朗にして豁達なる精神的雰圍氣を醸成し、より旺盛なる戰爭精神を高揚せしめると共に、不健全頽廢的なる敵性音樂を一掃すべきことを目標としてゐることは云ふまでもない。

二

その實施方法としては先づ委員會を設置して萬全を期し、皆唱せしむべき歌唱曲を選定し都邑山村の學校、興行場、增産部面、青年隊、訓練所、婦人會等に歌唱指導隊を派遣し、更に室内演奏會、野外音樂會等によつて一層普及の實を徹底せしめることになつてゐる。たゞ從來兎角日本人が外國人程音樂を生活の中にとり入れず從つて音樂を愛することの少かつた事實を反し來り、日本人の文化的な低さを物語る材料とするの如一面の通說でさへあつたが、音樂への要求が、即ち雜音の世界から去つて健全な休養と向上とを希求する現はれであるとすれば、今こそ音樂への新しく著しい要求の中に、激動する日本の姿が感ぜられ、その要求の切實さが一層胸にこたへるのである。

三

この運動の目的は、もとより國民をして健全明朗なる歌唱曲を力強く正常に歌はしめ、以てその士氣を鼓舞するところにあり、また一面、それなればこそ頽廢的、享樂的氣分にも浸らしめ、情操の涵養をも兼ねさせることをも無視すべきであつて、國民のすべてを音樂家たらしめんことを目的とするものではない。こゝにこの運動の發足點が置かるべきであつて、この運動の成功と否とは、そのまゝ生産增强の問題にも結びついて來る筈である。更にこの運動を契機に敵性的なる音樂を清算し、日本的なる本來の音樂を啄磨することによつて、それ等生産部面に厚生音樂運動を派生するに至らば、いはゆる健全娯樂の問題とも關聯して、働く者の生活に内より發する喜びと力とが湧起されるであらう。

四

その意味からいつて、主催者側の自己滿足的なる形式主義に終るものであつてはならぬことこゝに贅言するまでもないとである。なほ、老婆心ながら一課題として研究實踐を提唱したいことは、いはゆる愛國歌曲の指導も必要であるが、この機會を通じて國歌『君が代』及び『海ゆかば』などを正しく歌ふべき指導をもして貰ひたいとである。即ち案外指導的な地位にある人の中にも、それ等の歌が正しく歌へると云ふ向が子供つぽいとであるかのやうな印象を、不知不識の間に働かせてゐる者すらないではないからである。運動の展開に際して、國民すべてがそれに相和するは勿論、映畫館、樂器店、喫茶店その他においても極力この運動に協力して、米英的なる音樂を街頭から生活から掃蕩し、以て戰ふ日本の國民意識の昂揚に參畫するところがなければならぬ。

還都三年の國府

今や戰爭施策全し 逞しき國力を蓄積

【南京廿八日同盟】ハノイ脱出以來、身をもつて和平建國理論を實踐せんとして汪主席以下同志の血のにじむ努力は數々の苦難を乘切つて實を結び、昭和十五年想ひ出の南京に歷史的還都を行つてから早くも滿三年、その間主席以下國府首腦部は内外情勢のめまぐるしい變轉に處して些かの狂ひも見せず、和平の意欲を胸に秘めつゝ今日ある日を待ち焦れてゐた、想へばその三年に及ぶ成長の苦しみこそは生みのそれにも增す激しさがあつた

對日和平から大東亞戰爭協力へ、そして今度の參戰と、當初の和平理論は形の上でこそ變貌を遂げたとはいへ、その精神は一貫して變ぜず還都三周年の今日、中國獨立の意氣も高らかに日本と共に米英殲滅の決意を愈々固めてゐる

還都第一年目の昭和十五年は、汪主席の所謂『條約締結の年』であつた。國府は事變下の困難な諸條件を剋して中央政府としての形式を整へると共に、日華兩國の協力關係確立を期して基本條約の締結に全力を傾注した。この年七月五日南京に開かれた日華現地交渉は幾多紆餘曲折はあつたが、双方の眞摯な友情と理解の下に八月三十日妥結を見、二ケ月を經た十一月三十日南京で正式に調印された本條約は、同時に發せられた日滿華共同宣言と共に東亞の歷史上特筆さるべき重大意義を有する。かくて國府は本條約の成立と汪精衞氏の正式主席就任（十一月廿九日）によつて名實ともに中央政府としての地位を確立した。この新條約の根底に横はる複雜多岐な現實の諸條件は何れ將來にその正當な解決を待つものとして爾後の日華關係を、從つて國府の進路を嚴しく規定したのである

條約實踐の第二年

所謂『條約實踐の年』たる還都第二年目の昭和十六年を迎へた國府は、二月一日東亞聯盟中國總會を創設し『抗戰反對』の消極的和平理論から東亞運命協同體の自覺へ發展、孫文の大アジヤ主義を掲げて重慶へ果敢な建國理念の闘爭を挑むとともに内政的には一月六日儲備銀行を開行、五月十一日清鄉委員會を設置して七月一日には早くも蘇州地區第一期の清鄉工作を展開する等その努力は大いに見るべきものがあつた　しかし物價糧食などの民政問題は前途樂觀を許さぬものがあり、日華間の調整事項も未だ軌道に乘らず暗澹たる摸索に終始してゐた感があつた、加ふるに當時米英の日本に對する非道な壓迫は日毎に露骨となり、和平陣營内部にも一抹の不安動搖の色は蔽ふことが出來なかつた、かうした微妙な日華關係に磐石の基礎を確立したものは汪主席の初の公式訪日である　かくして感激を胸に歸國した汪主席は迫り來る嵐雲に備へて中央政治機構の改革を斷行し（八月十六日）臨時體制の整備を急いだのである、この年には獨伊など樞軸八ケ國（七月十二日）デンマーク（八月十八日）などの相次ぐ國府承認、國府の防共協定參加（十一月廿五日）があつて中國の國際的地位は大いに高められ樞軸陣營の一員として資格を確立するに至つた

新國民運動を展開

大東亞戰爭勃發の興奮裡に迎へた還都第三年目の昭和十七年の劈頭、汪主席は前年十一月九日四中全會で決定した新國民運動の展開を宣し、清鄉工作とならぶ二大國策としてその强力な推進を期した　清鄉は形而下、新運動は形而上の米英的國内舊秩序打破を目指す革命運動である、との二大運動を通じて民衆の間に大東亞戰爭協力の措置を培ひつゝ機の熟するのを待つたのである。然し大東亞戰爭の赫々たる戰果が和平陣營の士氣を鼓舞し、一般民衆の米英崇拜の感情を著しく冷却せしめた　この間汪主席の訪滿（五月四日）褚外交部長（五月二十七日）周財政部長（七月十二日）の訪日、日本三特使の答訪（九月廿二日）等外交的にも政治的にも重要な往來が重ねられて日滿華の協力體制はますます强化されたが、國内においては五月二十七日斷行された舊法幣の全面的驅逐による儲備券の地位の確立と清鄉工作の成果が漸く實を結び來つたこと以外特筆すべき動きは見られなかつた　それは恰も萌え出ようとする若草が頭上を蔽ふ積雪の重みに惱む姿ともいふべきものであつた、日本が中國に對する約諾を實言から實踐へ移すまでには大東亞戰爭の戰果と米英に對する不敗の地位確立が前提とされた、當時國府が重慶との合流による全面和平實現を一擲し、敢て同胞相討つ悲劇を冒してまでも東亞の反逆者を討たんがためには一抹の逡巡の餘地もこゝに殘さるべきではなかつた

一路參戰に直進

昭和十七年十二月漸く時機は熟した、重慶の迷蒙は遂に救ひ難く己の同胞を殺戮するため飛行場を米英に供與し、全く一敵國の手段にも等しくなるに及び、汪主席は大東亞戰爭一周年記念日に華記者團に對し『蔣介石にはもはや望を絶つ重慶の崩壞なくして全面和平は遂げられない』と全面和平の目標轉換を宣示したのである

一方皇軍の勇戰奮鬪は米英を大東亞の地域より一掃すると共に日本は曾て一部に存した在支權益的思想を一擲し、眞に兄弟の衡を以てその協力に報ゆるべき新段階に到達した、かくて十二月廿日、汪主席は再び戰勝に輝く日本を訪れ廿一日東條首相との歷史的會見に於いて中國百年來の宿望たる參戰の申し出をなし、日本の諒意を得たのち勇躍して廿七日歸國、直ちに全力を擧げて參戰準備に狂奔し、歷史的年昭和十八年を迎へた、この年こそ正しく國府飛躍の年である、一月九日の米英に對する宣戰以來日本の對支政策の果敢な新展開と相俟つて、國府及び中國の上下に漲つて來た活潑な新機運は以前の苦難に滿ちた情勢を知る人には殆ど信じ難いまでの目覺しさである

戰爭施策完整へ

未曾有の行政機構改革も一月三日何らの動搖もなく斷行され、政治、經濟各般の戰爭施策は驚くべき速度をもつて着々と實行に移されてゐる。就中參戰と同時に行はれた租界並に治外法權の撤廢移讓（二月八日）長江下流の物資移動制限の緩和、統制機構の大改組（三月十六日）など、一は中國百年の宿望に應へて、その主權を完整せしめ、一は中國の經濟力を復興して民生を安定せしめんとする日本の誠意の結晶であり、獨り國府のみならず心ある中國人の總てに甚大なる感動を與へたことは、參戰以來國府に歸順する重慶軍が著しく增大した一例をもつても見ることができよう

かくて、國民政府は初めて本當に明るい還都三周年記念日を迎へるわけである。それは東亞の諸國民が齊しく前途に仰ぐ光である。いかなる苦難をも物ともしない强く逞しい明るさである

三年制、二年制の二本建へ
陸軍少年飛行兵教育制度擴充

【東京電話】陸軍當局では大東亞戰下陸軍航空陣の整備擴充のためあらゆる努力を傾注してゐるが、就中將來陸軍航空部隊の中核的任務を擔當すべき少年飛行兵の育成强化については特に重要視しこれが育成方法については時局の要請に即應して少年飛行兵の教育機構の擴充並に合理化を行ふとともにその採用人員については更に本年三月より增募し決戰下航空に志す少年の熱望に應ずるべく右に關する勅令の改正を行ふこととなり去る廿三日の定例閣議に『陸軍部内における教育强化のためにする陸軍航空士官學校令ほか八勅令中改正の件』を附議正式決定したので上奏御裁可を仰ぎ廿九日附官報を以て公布四月一日より實施することになつた、從來、陸軍少年飛行兵の教育養成については東京陸軍學校に於ける一ケ年の基礎的教育、二ケ年の實地的教育、即ち操縱技術は熊谷、宇都宮、太刀洗の各陸軍飛行學校、整備關係は陸軍航空整備學校（所澤）通信關係は陸軍航空通信學校（水戸）の各學校を通じて三年間の教育科程と少年飛行兵長六ケ月の期間を經て航空下士官伍長に昇進したのであるが今回更改を加へられた要點は

一、東京航空學校を少年飛行兵學校と改稱し、東京の外に滋賀縣大津に更に一校を增設して二校としたこと

一、整備教育關係については從來の陸軍航空整備學校（所澤）の外に岐阜に一校を新設し所澤陸軍航空整備學校、岐阜陸軍航空整備學校と名稱を改めたこと

などで、これにより從來の三ケ年制による少年飛行兵教育制度を實施する一方、これを別途に二ケ年教育制を新設し

一、少年飛行兵學校における基礎教育機關一ケ年を飛躍して一足飛びに實地に教育を行ふこととし

一、これがため操縱技術については太刀洗陸軍飛行學校を二ケ年教育制の專用とし、整備については岐阜陸軍航空整備學校、通信については陸軍通信學校（水戸）に於いてそれぞれ實際的並に基礎的教育をも併せ行ひ、少年兵制の擴充强化を行ふことゝなつた

かくて今回の改正により少年飛行兵の養成は從來の三年教育制度と新設の二ケ年教育制の二本建となり、米英撃滅に邁進するわが航空軍の必要兵員はこれによりますます强化されるに至つた、入學については從來通り滿十五歳より滿十七歳までの國民學校修了者であるが、二年制の方は專ら滿十六歳以上の者を軍の必要に應じ本人の希望並に成績などをも參酌して入校せしめ教育することゝしたので、比較的年齢の多いものも修業年限一年の短縮により三年制のものと同樣六ケ月の隊附を經て航空下士官になれる途が開かれたわけである、なほ召募方法については本年度は既に三月をもつて從來通り入學試驗を終了してゐるので適當にこれを振分けることゝし、明年度より新たな方法によつてこの新設された二ケ年教育制度は合理的に適用されることになつてゐる

藥用 ナリス バニシングクリーム
[illegible]化學研究所

紐育市長軍隊入り

【ブエノスアイレス廿七日同盟】ワシントン來電＝米國大統領秘書官アーリーは廿七日の新聞記者團との會見に於いてニューヨーク市長ラガーデイアが近く軍隊入りをすることとなららうと發表した、米國各紙はかねてラガーデイアの北阿派遣説を傳へ、最近に至つては彼がイタリー系市民であるところから、代將の資格で米國遠征軍に加はり伊國侵略軍の歐洲大陸侵入に作戰の指揮をとるだらうなどとの臆測があつた

隨想錄

昔の戰爭は、武士だけが〃戰場〃といふ限定の場所で行ふものであつた。近くは日清日露の兩役も、それに近い狀態で戰はれた▲銃後といふ言葉は、その時代の匂ひとひゞきをもつてゐるもので、今日には適用しない。何となれば、いかなる時に、我々の耳許で空襲のサイレンが鳴りとどろくかわからないからである▲この戰爭が終ると共に、銃後は忽ち戰場と化すのだから、我々は寢た間も安心の出來ないのが本當であるにも拘らず、枕を高くして眠り、安心して生活についてゐるのは、勇敢な皇軍將士が護つてゐるおかげだ▲しかし〃日本人を地上から抹殺する〃と豪語してゐる惡鬼米英は虎視眈々として日本の空を狙つてをり、その爆撃機はいつ我等の上空に襲ひかゝるかも知れない▲それを恐れる必要はないが、油斷は禁物であるし、侮つてもならない。その意味に於て、京城の夜の明るさなど一考察の必要がありはしないか。ネオン輝き、ジャズが流れるなど愛國ありと云へるものでない▲皇民二千四百萬は、文字通り必勝の決意に起つてゐる。それならばこそ、春の靖國神社臨時大祭に多くの半島出身の英靈が合祀される榮譽を擔ひ得たのだ▲けれども同胞の全部が、英靈と同じ感激、同じ心で、その郷土を護るのでなかつたら、地下の英靈は己れの光榮にのみ安んじ得ないに違ひない▲サイレンが空襲を告げてからでは遲い。その前に、夜眠る時には各自が燈を消して、街を平和時代の不夜城のやうにして置かぬ用意が大切である。

魔の北氷洋を突破
七つの海で通商破壞戰に活躍
話題の獨逸巡洋艦 コメット號健在

【ベルリン廿七日同盟】ドイツの假裝巡洋艦コメット（三、二〇〇トン）が一九四〇年秋突如南太平洋に出現して通商破壞戰に活躍したことは當時世界の耳目を聳動せしめたが、同艦が如何にして太平洋に達したかについては現在まで謎のまゝに殘されてゐた、當時のコメット號艦長アイゼン少將が最近ノルウエーの駐屯軍司令部を通じて手記を發表、これをフエルキツシャー・ベオバハターその他の獨紙が廿七日の紙上に報道したのではじめて同艦が北氷洋を通過して太平洋に達したことが明かにされた、その手記を辿つて、コメット號の功績を見れば大體次の通りである

……◇……

北氷洋を通つて歐洲から極東に達する水路は北極探檢家によつて開かれ、その後ソ聯が新型碎氷船を使つて同水路の開拓を試みてゐたが、なかなか困難で船が厚い氷の中に立ち往生することも少くなかつた、コメット號はその困難を豫想して特殊の防氷措置を施し强力な推進機をつけたりして充分準備を整へた上、一九四〇年七月ドイツノルウエー東北のバレント海を過ぎてアジヤ大陸の最北端チエルジユスキン半島沖を通過、九月十日には早くもウランゲル島近くにまで達した、困難はますます加はつたが同艦はよくこれを克服したのである、かくして無事太平洋に達したコメット號はそれからパナマ運河方面で活躍、さらに南太平洋南印度洋などでも通商破壞戰果をあげたのち無事ドイツに凱旋した

司法省異動 (廿七日)

【東京電話】鈴木大阪控訴院長、赤羽札幌控訴院長、岩松大阪控訴院檢事長、柴廣島控訴院檢事長などの退職に伴ふ司法省大異動は廿七日附をもつて左の如く發令された

補大阪控訴院長　長崎控訴院長　岸野豹一郎
補長崎控訴院長　宮城控訴院長　松浦　忠雄
任判事（一等）補宮城控訴院長　司法省民事局長　坂野　千里
補札幌控訴院長　京都地方所長　瀬地　健吉
宮城控訴院檢事長　石塚　撥一
補廣島控訴院檢事長　大審院次席檢事　中野　並助
補大阪控訴院檢事長　東京刑事地方檢事正　金澤　次郎
補宮城控訴院檢事長　大審院檢事　黑川　涉
補大審院次席檢事　水戸地方所長　齋藤　尙一
任司法省民事局長（二等）　橫濱地方所長　佐藤　龍馬
補大審院判事　岡山地方所長　灘波　良職
補京都地方所長　東京控訴院部長　高田　貞男
補大審院判事　和歌山地方所長　柳澤　雅休
補岡山地方所長　靜岡地方所長　中島登喜治
補大審院判事　仙臺地方所長　乃川　德輔
補名古屋地方所長　札幌地方所長　谷　忠次
補和歌山地方所長　鹿兒島地方所長　小林右太郎
補熊本地方所長　東京民事地方部長　白方　一
補東京控訴院部長　盛岡地方所長　三靈生三郎
補鹿兒島地方所長　大審院判事　上田　操
補靜岡地方所長　鳥取地方所長　下飯坂潤夫
補水戸地方所長　樺太地方所長　松南　健彦
補盛岡地方所長　名古屋控訴院部長　庄司　直治
補前橋地方所長　前橋地方部長　佐藤　藤佐
補橫濱地方所長　甲府地方所長　黑川　耐雨
補長野地方所長　橫濱地方部長　榎本　信也
補樺太地方所長（二等）　神戸區監督判事　松本　官平
補大分地方所長（二等）　若松區監督判事　青木　敬吾
補鳥取地方所長（二等）　東京控訴院部長　大塚　今彦
補札幌地方所長（二等）　東京控訴院部長　明野　健一
補仙台地方所長（二等）

糧穀配給方變更
愈々來月一日から實施

京城府内米穀小賣商の企業合同は目下着々進捗中であるが、これに基く糧穀配給方法の變更は當局の指示もあつて機構整備に先だち愈四月一日より實施することに決定、糧穀配給組合では廿八日午前十時卅分より公會堂でこれに關する打合會を開催した　出席業者は約七百名で小笠原組合長の挨拶、古市府尹の訓示に引續き荒巻理事より新配給所開設に伴ふ切替準備として配給する切替米の配給方法と隣組通帳及び買出票の新通帳への引繼等につき注意と說明があり道經濟警察課神野警部、相原府内務課長からも夫々注意があり正午休憩、午後一時からは新配給所主任並に事務配給員約六百名に對し組合並に府當局より配給事務及び記帳方法等について說明同五時散會した　なほ被整備業者に對しては三月末限り配給を停止されるので自然轉業することになるが、これが實績補償は新組合の設立と同時に行はれる豫定である

印商工會議所反對決議

【イスタンブール廿七日同盟】ボンベイ來電＝印度商工會議所聯

週間世界の動き
敵反攻も水泡
大東亞の外壁固し

樞軸國鐵壁の陣

反樞軸國内の戰爭目的が戰後の新方針を繞つて進しない紛糾が續けられてゐる折柄、最近樞軸各國並に大東亞共榮圈諸國の愈々緊密な協力振りは特に注目に値するものがある、即ち樞軸各國間の緊密な協力關係を表徵するものとして先週中の東京における日獨伊三國混合專門委員會の開催と、ドイツ海軍最高司令官デーニッツ元帥とイタリー海軍軍令部長リカルデイ大將の會談の二つのニュースが報道されてある

この會合は各々別個の使命を持つものとはいへ敵國側の總反攻計畫に對する樞軸國共同戰完遂の上から見逃すことの出來ない重要意義をもつものであることは疑ひを入れる餘地がない

大東亞共榮圈の政治建設は今年に入つてから特にピツチを擧げて進捗し、これ又敵の反攻企圖の前に鐵桶の防壁を築きつゝあるのであるが先週の軍票引揚による中國の幣制統一や北京公使館區域の返還は湖北蘇淮兩作戰における皇軍の戰果と相俟つて新生中國の政治的發展の上に多大の寄與をなすものであつた

一方廿五日開催された[illegible]の本會議において東條首相の發表した『ビルマ獨立の基本要綱』は中國の躍進と併行して今や南方諸國も亦飛躍的な政治的發展を遂げつゝあるものとして特筆を要するものである、敵の東亞進攻作戰は支那大陸とビルマにその主要目標をおいてゐると言はれる、別言すれば、まづビルマを奪還しビルマルートを再開して、これを通じて軍需物資をどしどし支那大陸に送り込み、而して支那大陸を足場に一擧に日本本土を衝かうといふのが敵の主眼なのである

かうした作戰計畫が、それ自體甚だ非現實的な妄想であることはいふまでもないが、それにしても敵の狙ふ中心地域に以上述べたが如き强力な政治的發展が遂げられ共榮圈防衞體制に威容を加へつゝあることは、その意義頗る大であるとしなければなるまい

日ソ關係また同調

廿五日にクイビシエフ市において調印をみた第八回日ソ漁業暫定取極は以上の如きこの事實とは多少異つた政治的意義を有するものである、これもある意味では共榮圈の外壁を固め敵の策動に重大なる掣肘を加へるものとして注目に値するものであつた、ルーズベルトの告白する如く『太平洋の島を一つ〳〵通つて日本に攻め込むことは容易でない』さりとてビルマを奪還しビルマルートを再開して支那に兵器を送り、しかる後こゝから日本を攻撃しようといふ作戰も一體いつになつたら實現出來るか敵としては甚だ心もとない計畫である

一番容易で一番効果的な作戰はソ聯を味方にして極東ソ領から一擧に日本本土を衝くことである　歐洲作戰に關する限り一應同盟國の仲間入りをしてゐるソ聯のことであるから東亞戰でも仲間入りをする可能性がないとはいへない、何んとかならないものかと大東亞戰勃發以來頻りにソ聯を突つついた形跡がある、またソ聯を直接突つついたばかりでなく盛んに『日ソ開戰說』などのデマを飛ばして外部からも日ソの離間工作をやつて來たのである　しかし敵にとつては甚だお生憎さまなことであるが東亞の事態に關する限り日ソの利害は完全に一致して中立條約の精神は儼然と維持されてゐる、敵の日ソ離間策動が熾烈を極めつゝある最中に第八回漁業暫定取極が成立したことも結局はこの中立條約精神維持の再確認であり、ある意味ではその强化に等しいといへないことはない、少くとも敵の希望はこれで完全に粉碎されたのであり鼻先にぶら下つたぼた餅は依然ぶらつかり手の出せないものであることが立證されたわけである

米英の確執暴露

樞軸各國の緊密な協力と東亞の政治的躍進の顯著なる發展に反比例して敵陣營内部には益々分裂と對立の兆候が觀取されるのは甚だ愉快な對照である、敵陣營の對立と分裂は最近の英外相イーデンの訪米によつて世界中に暴露された

イーデンの訪米目的は米英の對ソ關係調節にあつたことはいふまでもない　例のポーランド國境問題、米副大統領ウオーレスの演說、米駐ソ大使スタンドレーの失言問題などでアメリカとソ聯との間に氣まずい對立が生じた、それは固より國家當面の利害の一致によつて無理な結合を行つたのであるから、對立や反目が生ずることは當然といへばそれまでであるが、敵にして見れば愈々總反攻を始めようといふ大切な時機に分裂してしまつたのでは大變なことになる、作戰が挫折するばかりか、ソ聯を相手とする第三次大戰の危險すら生ずるのである

そこで現實主義者のイーデンが訪米に立つて何んとか一時彌縫策を講じようといふのがイーデンの背負つた大役なのである　ところがイーデンとアメリカ當局との話合は一向進捗せずに却つて米英の對立感情すら惹起するといつた逆効果を生んで了つた、つまりイギリスはアメリカをして對ソ態度を今少しやはらげて貰ひたいため『歐洲のことはイギリスに任せてくれ』といつたやうなことをいひ出した、これはイーデン渡米後のチャーチルの演說やロンドンタイムスの論說によつて明瞭に觀取されるのであるが、アメリカは『とんでもない、かういふ計畫はイギリスの歐洲獨占の野望を意味するものだ』と今度はイギリスを警戒し始めた

勝利は樞軸側に

イーデンの渡米はかくして對ソ彌縫どころか英米ソ三國間に三巴の對立と分裂を惹起して了つた感があるのである、敵國の内部紛爭のことであるから勿論正確な情報は摑み難いが米英の新聞論調や代表者の發言を綜合して見ると三國が目下かうした隙間におかれてゐることはほゞ疑ひの餘地がない　戰爭中のことであるから『紛糾を無限に擴大して了ふことは三國の共倒れに終る』ことは彼等も承知してゐるのであらう

心臓 喘息の治療に 心力
◎精力體力弱き人○
◎動悸息切ある人○
◎結核肋膜熱の人○
(藥價 一圓より)
心力本舗 市山藥房

改造 四月號・特價九十錢・改造社發行
國民戰爭 日本總力戰研究(3)
米國經濟と軍備・都留重人
スターリングラード・アンサルド
ガンジーと民族運動・横山芳郎
禪問答・鈴木大拙
藤田東湖・肥後和男
藤田東湖先生像・横山大觀
文學について 座談會 志賀直哉 武者小路實篤 川端康成 火野葦平 岩田豐雄
がだるかなるの英靈・佐藤春夫
たたかふ時・齋藤茂吉
某月某日・高村光太郎
小說 清流 直井潔
對支政策飛躍の意義と重點・山崎靖純
中國の思想問題・周作人
國體と統制・難波田春夫

高血壓.中風
手足痺れ痛み、小用近く、頭重、不眠、耳鳴、舌もつれ、半身不隨
血壓中樞(急所)の狂ひを止めねば ナゼどうしても治らぬか?
油斷せば腦溢血で倒れる
でも こうして急所さへ治すなら 病苦も俄に好轉
新發見! 血壓中樞に特殊ホルモン注入療法とは?
ヤギクラミン
原理化學研究所

中央公論 四月號
(卷頭言) 運用政治の妙諦
勝率は獨逸に傾けり (世界情勢研究) 伊藤正德
法隆寺の刀・末永雅雄
箱根用水の話・高倉テル
國民校參觀記・三島新吉
團平の思ひ出・茶谷半次郎
(詩)たたかひの跡・北川冬彦
東方の門 島崎藤村
☆中央公論文藝賞第二回決定發表
☆特別編輯 (土屋清・大熊信行 猪木正道・藤島俊 美濃口時次郎) 轉廢業者とわれわれの共同使命
アメリカ文化批判 知性の轉向・酒枝義旗 物質と精神・湯川秀樹 國學の源流・小田切秀雄 (難波紋吉・清水幾太郎)
東亞國際法論の課題……田畑茂二郎
東大寺大佛讚歌十首……會津八一

商業登記公告

[illegible]

十勇士偉勳の陰に咲く　噫殉職三勇士

故海軍大尉神田晃之忠魂
故海軍中尉三扶尚三ト共ニ
故海軍兵曹長大石廣治

【東京電話】帝國潜水艦魂を中外に宣揚して護國の神と鎭まつた第一次特別攻撃隊員の晴れの出陣に際して悲壯なる宣誓を容れたが、その宣誓に表はれた殉職者神田晃大尉、三扶尚三中尉、大石廣治兵曹長の三勇士は、同じ攻撃隊員として決死訓練中昭和十七年三月二日壯烈なる殉職を遂げたもので、辛苦を共にした殉職の英靈に酬いんと一死報國を誓つた攻撃隊員十勇士の壯烈比類なき決意が偲ばれる、なほ晴れの壯途を待たで散つた殉職者の出身地は次の如し

海軍大尉神田晃（鹿兒島縣志布志町三五一六）海軍中尉三扶尚三（新潟縣北蒲原郡新發田町上川津四〇二ノ三）海軍兵曹長大石廣治（愛知縣西加茂郡猿投村加納）

【寫眞＝第二次特別攻撃隊の勇士が出陣を前に殉職三勇士にあやかるべくその決意を認めた書】

血を吐く猛訓　今佐久間の神田大尉

【鹿兒島電話】第二次特別攻撃隊十勇士と生死を誓ひ敵艦必滅の決死行の日を期して血を吐くやうな特殊潜航艇訓練中シドニー、マダガスカル強襲決行前に太平洋の海底深く昭和の佐久間艇長ともいふべき神田晃大尉の殉職は惜んでもあまりあるものがある

すめらぎのみくにに
うまれますらをが
いくさのはなと
ちるぞうれしき

と辭世の歌を殘し特別攻撃隊の不滅の戰果の陰に從容死についた若櫻神田晃大尉、敵艦に見えなかつたとはいへ、わが海軍々人の典型として、その功は世界に比類なき特殊潜航艇史に燦郁として薫るであらう、同大尉は鹿兒島縣曽於郡志布志町の出身で父彌一郎氏（五七）と母リヱさん（五一）との間に五人兄弟の次男として生れ、かつて縣立志布志中學校に武道教師として奉職した劍道教師の父彌一郎氏の嚴格と母リヱさんの溢れる慈愛に育ち忠孝併せ持つた武人としてのきざしはすでに幼時から育まれてゐた、鹿兒島市常盤町三〇三の實家を訪へば

くにのためたふれし
ひとをしのむにも
おもふはおやの
こころなりけり

といふ山本聯合艦隊司令長官から贈られた感狀とともに故晃大尉の遺影が掲げられた奥座敷で母堂リヱさんは語る

親心として唯思ふことは晃にも中馬さん達とともに死場所を得させ、もつとお國のお役に立たせてやりたかつたといふことです、しかし艇とともに死んだ晃は滿足してゐることでせう【寫眞＝神田晃大尉】

軍神横山少尉と無二の親友　大石兵曹長

【名古屋電話】訓練中殉職した大石廣治兵曹長は愛知縣西加茂郡猿投村の生れ、家には數年來の宿痾に立居振舞が叶はぬ嚴父與市郎さんに代つて今なほ增産の鍬を揮ふ男勝りの母堂つぎさんをはじめ同郡猿投町役場に勤める兄果一さんとその妻靜江さんならびに長男昭史君、次男昌寛君の六人暮しである　兵曹長は眞珠灣頭に散つた九軍神のうち横山薫範少尉、上田稔兵曹長とは呉海兵團の同期で殊に横山少尉とは無二の親友であつた、第一次特別攻撃隊壯擧の折にも故兵曹長は『俺も横山と死ぬのだ』と攻撃隊の參加を熱望したのであつたが『貴樣はまだある　後の者の訓練に努めよ』と上官から諭され、遂に思ひ止つた程である【寫眞＝大石廣治兵曹長】

母の黒髪と共に　從容と死につく　劍心一路の三扶中尉

【新潟電話】第二次特別攻撃隊員として猛訓練中殉職した新發田町三扶尚三中尉は昭和十七年三月二日壯烈な最期を遂げた、印刷業を營む當主誠五郎氏の三男、中學時代の同三中尉は月刊雜誌や小說類は一切好まず教科書と大楠公、廣瀬中佐等の傳記を熟讀し趣味としては劍道一路、二段の腕を磨いたといふ旺盛なる意氣、激しき氣魄は小學校と同樣優等、特待生として授業料を免除され新發田中學の模範生だつた

昭和十三年四月一日海軍兵學校に入學したが休暇を得て歸宅するとすぐ神社、先祖の墓參、中學時代の軍事教官、恩師などを訪問する傍ら父の印刷業を助け逞しくやさしい子供として成長した逞しい姿を見せてゐた

十六年十一月一日少尉に任官、太平洋の怒濤逆卷く中に猛訓練し、必勝魂を錬成し、母のセイさんは"御國に捧げた身體ゆゑ兩親のことは案ずるなかれ、立派な手柄を樹ててくれよ"と根本からぷつつり切つた黒髪の毛と短刀を贈つた

『兩親の慰問袋のお餅を頂き思ひ殘すことはない、公報がない限り太平洋であらん限りの力をつくしてゐると思つて下さい』これが最後の便りだつた【寫眞＝三扶尚三中尉】

春窮の難關突破へ　春作に血みどろの農村戰士　鹽田農林局長の土産話

草の根と木の實を代用食として、昨夏の旱天禍による逼迫した食糧難を克服しながら、なほも食糧增産に起ちあがり春作に血みどろの農村戰士、これに一人も餓ゑさせまじと萬全の策を施して溫い親心の指導に起つ官、これが渾然一體となつて、いま、半島農村の春窮難關は見事に突破されつゝあるのだ、以下は、都會人には想像もつかない、決戰下涙ぐましいその增産挺身ぶりを親しく眼にした鹽田農林局長が、一週間に亙る全南北及び慶南地方の視察を終へて廿七日歸任して語つた『土産話』であるが、之はあらゆる困窮缺乏に堪へながら血みどろの苦闘に力戰をつゞける純朴な農民に對して都會人は愈々節米、節食の實をあげて、彼等同胞に感謝すべきを促すに足りる一つの警鐘でもあらう【寫眞＝鹽田農林局長】

足らない食糧を草根木皮の代用食で補ひ節米に奮闘してゐる農村を見て實に涙ぐましかつた、どんぐり、よもぎの採取に雨あがりの野良へ出て老若男女が總起ちとなつてゐた、松葉をとる、くづの根葉もとる、特に全南にあつては愛國班の理事長が先頭に起つてこの代用食採取を愛國班の一つの實踐徹底事項として組織的にやつてゐた、かうして農村は春窮難關を乘り切つて行かうといふ意氣

敵撃滅の固き誓ひ　半島靖國の遺兒部隊

明治神宮參拜

【東京電話】朝香宮殿下の激勵のお言葉など身に餘る光榮に感激の夜を明かした靖國の遺兒が九段の社に父祭神と相會する社頭對面の日はけふも續く——すでに神鎭まる父英靈と懷しの對面を濟ませた外地、南樺太、九州ほか六縣の千三百名を第一日に引續き廿八日は靜岡を先頭に鳥取、宮城、奈良の順で二十府縣支部二千二百名が午前八時から次々と昇殿參拜を許され神殿奥深く鎭まる父の、兄の英靈と聲なき對面を行ひ、幼き心に終生忘れることの出來ない感銘を胸に刻んだ　かくて神前で記念撮影をなし遊就館、國防館を見學ののち九段白百合高女校庭で同校生徒、日婦の奉仕により各方面から贈られた手に餘るお土産物を貰ひ九段の御社をふり返り〳〵しながら夕刻引揚げた

一方第一日昇殿を終へた第一班朝鮮以下十三支部および第三班中京以下十九支部が時を同うして午前八時ごろからそれ〳〵明治神宮を參拜、明治天皇の御神前に父英靈に代つて米英擊滅に精進する固き覺悟のほどを凛々しくお誓ひ申上げた

お喜びの照宮樣　けふ女子學習院御卒業

【東京電話】女子學習院第五十六回卒業式は廿九日畏き邊より御差遣の秩父宮妃殿下の台臨を仰いで擧行されるが、この日御在學中の照宮成子内親王殿下には御目出度く中等科の課程を御修了、優秀なる御成績をもつて御卒業あらせられる

お喜びの照宮樣には御年十九歳昭和七年四月女子學習院前期第一學年に御入學あらせられ爾來十一星霜、雨の日も風の日もおいとひもあらせられず宮城内呉竹寮より御通學御修養に努めさせられた、畏くも御兩親陛下に御鍾愛のほどは申すに及ばず、皇太子殿下をはじめ奉り義宮樣、孝宮、順宮、清宮各皇子さま方の御姉宮樣として　おやさしき御情愛を注がせ給ふも畏き極みであるが、女子學習院での御勉學も一般學生と全く御同樣で、支那事變以來は同院の勤勞報國隊にも親しく御參加になり繃帶卷き、白衣裁縫などの尊き勤勞作業をも進んで遊ばされ御學友はもとより全院學生の敬慕の的であらせられた

前線の勇士の上にもおやさしき御仁愛を注がせられ前線への慰問文、慰問袋も御手づからお作りになり御慰問御激勵あらせられ、護國の英靈に對しては御敬神の深き思召から春秋二季の靖國神社臨時大祭にはしばしば御參拜あらせられた　御研學に御多忙な御日常を割かせられては動物園、博物館、科學博物館の御見學をはじめ御休暇を御利用あらせられては京都、大阪、九州、北海道など全國各地までも御旅行あらせられ神社、佛閣に御參詣、史蹟名所その他地方事情など御見學、御見聞を廣めさせられたほか呉竹寮におかせられては各課のほかにピアノ、茶道などの御稽古を勵ませられるなど畏き御日常を過させられてゐる

御卒業後はますます御學習にいそしませられるはもとより、婦道の御修養、御研鑽に努めさせられ、御聰明なる御麗質をいよいよ磨かせ給ふと承るが、お喜びの照宮樣には廿日霞ケ關離宮に於て芝田院長をはじめ女子學習院關係教職員を午餐に召させられ、引續き廿一日には御學友六十名を御同樣召させられて午餐の御別宴を催させられる御豫定と承る

床しき"武人の華"　『俺はよいから他の人を救へ』　高千穗丸で遭難の奥大佐の最期

【東京電話】去る十九日敵潜水艦の犠牲となつた高千穗丸に乘り合せ○○海上に最後まで遭難者を激勵、救命艇來るも『俺はよいから他の人を救へ』と絶叫しつゝ終に力盡きて海上に散華した奥寅盛大佐の壯烈襟を正さしめる犠牲的精神は武人の華として各方面から惜まれてゐるが、その遺族東京市中野區江古田町一九一奥惠米未亡人（四七）はさる昭和十七年五月海軍第二次特別攻撃隊中馬兼四中佐の實の伯母に當つてをり、同中佐は幼時から故大佐の薫陶を受けたといふ奇しき因縁に結ばれてゐる、奥大佐の留守宅には奥惠米未亡人と長男青山學院高商部三年の應久君（二三）が靜かに大佐亡き後を守つてゐるが、窓際には故大佐遺愛の盆栽の松一本、中馬中佐の遺影と共に飾られた奥座敷の靈の前に奥惠米未亡人は二人の英靈の生前を顧みて

主人は新しい任務に赴く途中の不慮の死に大東亞戰下眞に御奉公を盡さなければならない時に當つてさぞかし殘念であつたらうと存じます、中馬兼四は私共一家にとりまして實の子供のやうなもので、主人もあの子のことは幼い時から何くれと面倒を見てくれまして横須賀にをりました時には一週間に三回位は必ず來るのが常でした、すると家の近所の方々が大勢見えられて潜水艦の話を聞かせてくれといつては夜通しで話したものでございますが、そんな時も『潜水艦乘りはつらいでせうですね』などと聞かれたりすると『ハアそんなものですかな、自分は一向につらいとは思ひませんな、實に愉快な商賣ですよ』といふきりで後はどんなにきかれてもたゞニコニコ笑ふばかりで一言も申しませんでした、昨年の二月五日には私のところへ三晩泊りに來たのが最後で御座いましたがそのとき兼四が歸ります朝『では御元氣でまたいらつしやいね』と申しますと『今度は靖國神社でお目にかゝります』といつてニコ〳〵して出て行きました

あの時の感激　昇殿參拜を許された半島遺兒の綴方

靖國の社に神と祀られた父にも忘られぬ光榮に浴し得た嬉しさ、有難さ——これら靖國の遺兒たちは一生を通じて二度と得られない感激でなくて何んであらう、潔純無垢まさに神に近き心境もて昇殿參拜を許された遺兒たちはそこに見出して心のまゝ語つたのである、優しい父の顔を眼のあたりに見、久しく聞き得なかつた神の聲を耳にした遺兒たちが『立派な皇國臣民となつて忠義を盡します』と神に誓つたその言葉は遺兒たちの一生を貫く強い支柱となることであらう　半島から選ばれた遺兒九名は東京の宿舎にあつて"あの時"の感激を綴らずにはゐられなかつた、遺兒たちの感激は同時に銃後われ等の戰爭完遂決意をより一層固めてくれるのだ、次に全北代表菅章君、同水野芳子さん（共に五年生）の綴方を原文のまゝ紹介しよう

全北代表　菅章君

今日は初めに宮城前で遺兒の方々が集まり、宮城遙拜し萬歳を三唱して日比谷公會堂に行つて有難き天皇陛下の御下賜品の傳達式があり、それが濟んで軍人援護會の式がありました、畏くも朝香宮殿下より有難き御訓示を賜りました、また東條首相、厚生大臣、海軍大臣から有難いお話を承つて僕はしつかり勉強して立派な人にならうと決心しました、式が終つて靖國神社に參拜しました、大鳥居をくゞると大村益次郎の銅像がありました、休憩所で休んでから昇殿參拜をしました、私達遺兒のために特に昇殿を許されたことを考へると有難くて胸が一ぱいでした　宮司からお話を承りました　天皇陛下に忠義を盡すことをおつしやいました、拜殿にのぼつて拜禮を致しました、ちつと頭を下げますとお父さんの姿が頭に浮んで來ました『章よく來たね、お前は有難き天皇陛下の御恩を忘れまいぞ、大きくなつたら父のあとを繼いで立派な人になつておくれ』とお父さんは僕にいはれました　お父さん、僕はこんなに大きくなりました、僕はこれからしつかり勉強してお父さんのあとを繼ぎます　とお誓ひ致しますとお父さんはニツコリされて姿が見えなくなりました、僕はなんとなく胸が迫つて來ました、參拜を濟まして遊就館と國防館を見學しました

同　水野芳子さん

私達は午前八時に宮城前に集合しました、二重橋前に行くと自然に何を感じるか心が引締り頭が下つて參りました、暫くして各府縣の遺兒が集つて式が始まりました、首相、厚生大臣、海軍大臣より御訓示を戴きまた私達の爲に皇后陛下より有難い御菓子を戴きました、これに對し私は立派に成長して天皇、皇后兩陛下に忠義を盡し立派な日本女性としてお國に盡さうと固く決心しました、續いて式を行ひました、畏くも朝香宮殿下より御懇篤なる御訓示を賜りすきとほるやうな御聲に有難い神々しい氣持が致しました、奈良大將からも御訓示を戴きました、私達の爲にこんな大きな式をつくつて下さつたことは誠に光榮であり一家一門の譽であると存じました、誠に有難く思ひました、次に懷々お父さまにお會ひ出來ると思ふと嬉しくてたまりませんでした、初めに休憩いたし、手を淨め服や靴の塵を拂つて入りました、朝鮮が一番さきにお詣りしました、神社のなかに入る前、神主さんから一言の注意がありました　こんなに私、大きくなりました　そして母や弟妹が皆んな元氣だと報告し、これからの務めを申上げなさい　とおつしやいました、中に入ると前に大きな鏡がありました、遺兒代表が玉串を捧げ、それと共に私たちは拜みました、お父さまに申上げたことは　お父さん、私はこんなに大きくなりました、お父さんの戰死の後にお母さんの言ふことをきき、學校では先生の云ひつけをよく守り弟妹を勞はり一生懸命に勉強し、強く正しき日本の女性となり天皇陛下に忠義を盡し君國のために御奉公をする覺悟であります、お父さん何卒、御安心下さい、そして今年は五年から女學校に合格しました、私の成長をお守り下さい　と固くお誓ひいたしました、そこでお父さんとお別れ致しましておみやげ物を頂きました、歸りに遊就館や國防館に行きました、色々兵隊さんがたの立派な働きをした御遺物を拜觀しました、血のついた服、また手紙などがあり、大變な勇ましい働きをして下さつて有難く感謝いたしました

『乘車券』の立賣り　一日から京電で實施

京城府内の交通難緩和の聲を聽くこと久しく既に急行電車の實施、一列勵行等の緩和策が講じられて來たが依然として緩和されず乘換禁止とか停留所の一部廢止、或は官廳、學校等の出勤時間繰更等の緩和策が傳へられてゐるが何れも早急なる實施には考慮の餘地があり、當局も京電側も打開策に腐心してゐるが、愈々四月一日から一錢の交通稅徵收を實現すると共になつたのでこれと同時に"乘車券の立賣り"を實施することになり目下京電側と道警察部、府當局と折衝を重ねてゐる

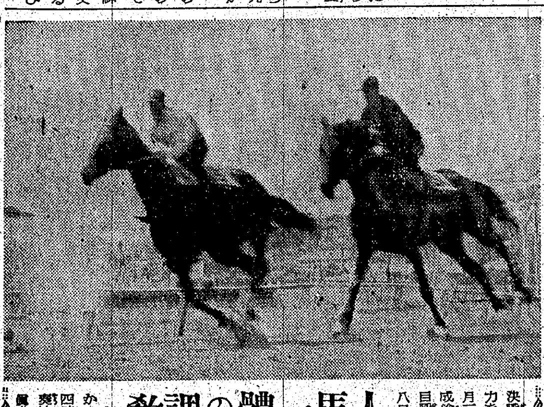
これは直接稅徵收に伴ひ府から京電側へ徵收手數料が支拂はれるので京電側はこれを立賣りの經費に充てるものである

乘車券の立賣りとは府内の主要な停留所前で車掌が乘車券を賣るもので、これにより電車内で賣る手數を緩和し多少でも混雜を除かんとするものである、從つて乘客は出來るだけ立賣りを利用するやう望んでゐる、なほ乘換券の廢止は當分見合せることになつた

國防獻金

京釜線烏山驛前烏山國民學校四年生竹田眞幸君（一〇）は學業の傍ら本紙の配達をして得た金十一圓七十五錢を國防獻金として廿八日はるばる本社を訪れ寄託した

近づく京城春季競馬　人馬一體の調教



決戰の今年、旺盛な銃後の民力を盛つて京城春季競馬は四月三日から八日間に亙つて繰展げるが、初日を目睫に控へて本馬場調教が廿八日午後一時から開始された　今季競馬に出場する新馬登錄馬百十九頭古馬廿七頭は三寒四溫の春風に蹄も逞しく若草萌ゆる本馬場を矢の如く疾驅する、最後の仕上げに人馬一體となつての鮮かな調教ぶりは息もつかせず押し寄せた觀覽者を魅了しかくて必勝の鬪魂漲る調教は四時まで續けられ本競馬の前奏は力強くかなでられた【寫眞＝京城春競馬の調教】

鍮器を獻納

府内齋藤町一丁目婦分會では[illegible]野分會長はじめ全會員が赤誠こめる銅や眞鍮器具三千七百八十四點を醵出、廿七日、八台の荷車で海軍武官府へ獻納した

汪主席にメッセージ捧呈　日滿兩國青少年部隊

【南京廿八日同盟】國民政府還都三周年記念祝典と中國青少年團結成式に參列のため廿七日南京に到着した日滿兩國青少年團派遣代表各廿名は廿八日午前十時半先づ新國民運動促進委員會を訪問、林柏生秘書長に來寧の挨拶を述べたのち市政府及び教育部を訪ひ外交部長公館を訪れたのち日本大使館に重光大使を訪問、挨拶を述べ總軍、海軍武官府、滿洲國大使館などを歴訪した

また同六時から日本大使館の招宴に臨み午後八時國民大會堂で行はれた日滿華青少年代表交歡講演會に出席、東亞の將來をになふ若人は烈々たる決意を吐露して氣勢を擧げた

なほ一行は廿九日午前十時中山陵、革命烈士祠に參拜、午後五時汪主席に謁見、メッセージを捧呈するはず

中東學校合格者

安本基宗、大原景存、佳山明澤、吉山璟守、中山相、竹山永喆、宮島武植、高田鶴秀、金豐鐵杓、金村尚周、永本桂鎬、岡本世源、三州茂根、花原永錫、岩村美世、松山博、豐村秋男、德山武男、廣垣成雲、高木振煥、金海貴羽、玉川承律、野村嘉茂、山田壯俊、鐵城勝應、南輝基、岩城敏夫、金光秀雄、安田圭文、利川俊觀、澤村俊男、利川相龍、松原在春、徳山永文、長山泰龍、晃本鳳柱、安田侊著、南盛祐、金澤光秀、金澤歡完、原豐博、延川炳彊、安本薰晉、金安德正、新井允成、白石勝三郎、高山英夫、竹田登烈、豐原能俊、高山光熙、牧山泰夫、牧山昌永、吉川尚池、岡村仲蓉、平山致先、大倉常鎣、德川秀秀、金本德三、李康厚、松本仁煥、高山容稀、茂原若鐵、新井弘成、福原公秀、茂具滋國、金宮誠泰、永本武男、金田膽男、澤山光雄、方村成日、宮本範秀、金井仁一、金澤淸正、金澤奉幸、安本鐵煥、中山忠權、韓國熔、大山正雄、金城晶鎭、花田重權、安陵時浩、松原圭鎭、福原泰斗、豐田勝正、今村能權、林善一、安岡秦賀、海平泰東、池元平松英松、金城秀雄、山田哲男、玉、岩本仁爵、松村貞爾、坡本秀三

私のソバカス取つた話！

毎日々々人前に出るに恥かしい思ひをしてゐる私のソバカスをフケの樣な古い皮に變化させてスツキリと剝げ落しましたらどんなに嬉しいでせう。それは私の脱皮療法研究の動機です。死にお困りの方は東京市豐島區池袋[illegible]研究所へハガキでお申込みあれば詳細の「家庭[illegible]」自信ある研究所「脱皮實驗集」冊子を無代進呈します。

ラヂオ　29日

朝　七・〇〇『北方の先覺間宮林藏』藤井甚太郎▲九・〇〇（城）一般國語案内『稲の播き方と苗の作り方』阪井源治▲九・三〇（城）『春と火の用心』（鮮語）金光正衍

晝　〇・三〇『詩と音樂』石黒澄也朗讀、東京放送管絃樂團伴奏▲一・〇〇（名）朗讀『最前線の[illegible]の日記』（鮮語）澄川清

夜　六・〇〇 物語『少年通信兵』中村伸郎▲六・三〇（城）『南京還都三周年の現狀』林耕宇▲八・〇〇 講談『英一蝶と寳井其角』神田伯龍、2（城）『家の病害とその防除法』遠藤茂▲九・〇〇（城）[illegible]（鮮語）金朗浪、2（城）唱劇[illegible]（鮮語）朴商翕、小說『[illegible]園の花』

今津博士の素晴しい研究
不治でいない　高血壓・中風　ぜん息・神經痛

此病氣は高血壓、花柳病、動脈硬化、腎臟病、胃腸病、慢性病等で血管が脆くなつて破れ易くなり、神經が侵されて起るので原因をなす濁つた血液を淨化して動脈硬化の原因を除いて[illegible]

高血壓　動脈硬化で頭に血が上り耳鳴り、眼眩がし、動悸がし、便祕、不眠、神經衰弱、足重ハレ、ふるひシビレなど腦溢血の危險ある人

神經痛　リウマチで手足が痛み、やがて痛みが出て眠れぬ人は一日も早く大阪市[illegible]今津研究所へ遠慮なく御申込み下さい。[illegible]

滿洲臺灣醫師試驗　問題解答集附大陸醫師檢定各科重要問答集

定價拾圓　送料六十錢　東京品川區鈴ケ森ポプラ家　振替東京一六八〇八六　大陸醫學倶樂部

名義書換及質權ノ登錄停止公告

昭和十八年四月一日ヨリ同四月三十日迄株主名義書換及質權ノ登錄ヲ停止ス
昭和十八年三月廿九日
朝鮮東亞貿易株式會社

ロンド輪轉謄寫機

自動送紙式　七號型

マルゼンタイムレコーダー　電氣捲き式

マルゼンタイムスタンプ
マルゼン計算機
丸善　東京・大阪・名古屋・其他　京城府本町

昭和中等學院　生徒募集

▲新學期四月十日　▲京城府黄金町六ノ三三
校長　從三位勲四等男爵　沖貞男

中野高等無線電信學校

東京市中野區江古田

有名賣藥衛生雜貨卸　深田順弘堂

奈良　出張所　大阪

ホルモンクラブフード

ホルモンの深達作用と適度の脂肪性とにより肌を美しく健康にします。
株式會社中山太陽堂

子寶溫キメ

産めよ殖やせよ
浅井園

訃告

三井敏弘（朴泰鉉）大人嚴東氏以宿患今月二十六日午前七時別世茲以告訃
昭和十八年三月二十六日

長孫好文儀豫而大學病院ニテ加療中藥石効無ク二十八日午前零時五分永眠致候生前ノ御厚誼ヲ謝シ此段謹告仕候
昭和十八年三月二十九日
父　神崎[illegible]

化膿症に　アルバジル錠

中耳炎　扁桃腺炎　面疔　婦人科化膿症　淋疾
本劑は内服により病原菌を直接克服す。故に化膿・發熱・疼痛の消退速かにして根元的治癒を促進せしむ。
山之内製藥株式會社

濕布　ビタハップ

物理的性狀並に藥効にあるとの理論に基き水分蒸散を理想狀態にする特殊コロイド性鑛物質に消炎作用を有する芳香科藥用植物の脂肪酸フイスオリンエステルを配し、物理的性狀、藥効に萬全を期した眞に理想的な濕布劑である。
資生堂のビタハップ　五〇セン
東京資生堂

樋屋奇應丸

發育機能！　特に腦心臟と胃腸強化に治病抵抗力の促進に！
小兒良藥

われ等の『戰ふ木造船』とは？

月曜特輯

敵ゲリラ戰何物ぞ
愈々本來の使命達成へ

海國日本の建設は米英の驕傲をおさへ海洋民族の血潮がいま再び機帆船を操つて茫洋たる大東亞海の波浪を乘切つて海上輸送陣に登場しようとしてゐる、そして南方現地用、または内地用として木造船計畫は着々進捗し、昭和十七年度計畫造船は一船二船と次ぎ次ぎに竣工して海上輸送陣營に送り出し、十八年度造船計畫に逞しく造船の手斧は響く、日本海に、太平洋に、大東亞海に我が木造船團の威力を民族の血潮とともに遺憾なく發揮するときが來た、さて木造船とはどんなものか……

海軍力と造船術

そもそも神武天皇が大和御平定に卒ゐさせ給うたのは主として海軍だつた、二千六百餘年前、九州から瀬戸内海を横斷し、更に紀州灘の荒波を乘切るのは、コロンブスが大西洋を横斷し、バルチツク艦隊が對馬にくる以上の大壯擧なのだ、海軍力の優秀さが偲ばれる、水鳥の羽音にさへ驚いた平家が、敗れても恥なき戰を屋島、壇ノ浦に挑んだのも海軍力に物を云はせたのだ、源氏はバルカン山脈を乘越えた獨軍の如く鵯越を突破し、平家は英國の如く軍艦に物をいはせて海に逃へ籠つたが、屋島、壇ノ浦は遂にクレタの悲劇に終つた海軍力の優秀は造船術の發達にあつた

種類とその長所

慶長十九年紀州の國主池田輝政の造つた紀國丸は長さ百七十間、寛永三年京都の角倉の造つたシヤム貿易の船は五十間、寛永十二年幕府の造つた船は世界の長さで鋼張りにし、二百挺の櫓をつけ、一挺の櫓に二人の水手がついたのだから漕手ばかりでも四百人も乘つたのだ、鎖國とゝもに大船の建造が禁止され逞しい海洋への發展が杜絶した、これを打破し挑戰の夢をさましたペルリの黒船によつて幾多造船の機運を進め、我が國の造船築が勞ひこの方面に舵を轉じたのちも、木造船工業は國力の伸展とともに發達し大東亞戰爭の息吹を浴びて大きく浮びあがつた、鋼鐵船には鋼鐵船として、また木造船には木造船としての本來の使命があり、存在價値がある

木造船の種類と長所　木造船には帆だけで走る純帆船、内海の島嶼を縫つて走るお馴染のポンポン船、順風があれば帆の力も借りようといふ機帆船、いまここでいふ木造船とはこの機帆船のことなのだ、この外に特殊に使はれる艀船、曳船等があるが、木造船は鋼鐵船の代用品ではなく、木船獨特の價値、消極面の長所をもつのだ

造船の上から見ると

一、資源に乏しい我が國も木材資源には豐富に惠まれてゐる

二、急速且つ多量といふ戰下の要求に合致し比較的短時日に建設可能なこと

三、造船設備に大して資材を必要とせず、何處の砂濱でも建造し得る

四、最高度の技能を必要としない

これを用途の方からみると

一、近距離輸送に好適なこと

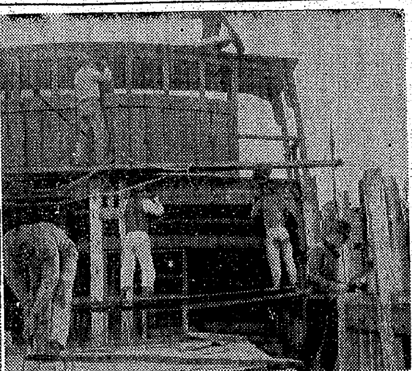
二、揚卸荷役が可能

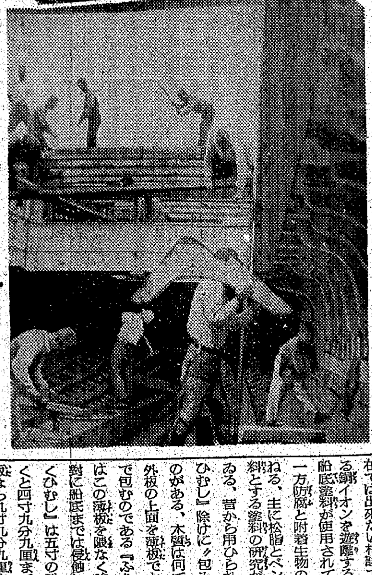
三、危險の分散

等が擧げられる、鋼船建造には造船資材及び部品が一千種に及び七十餘種の工程から製作される綜合工業であつて、そのうちどの一つが缺けなくつても直に全體に影響し建造促進を阻害するが、木船はより簡單である、目下最大の要求は時間と量であるが、木船は最もこの要求に合致してゐる

普通船舶は運航可能日數中約半分以上の日數を荷役のため港灣に引留められるが、木船は如何なる不良港でも河川でも自由に出入し直接荷主の河岸に接岸が出來て沖荷役の必要がない

敵ゲリラ戰の海上にあつて如何に傾馬な敵でも木船を一隻撃沈したぐらゐでは手柄にもならないし、一木船に魚雷の二本も三本も消費したのでは魚雷の方が高くつくだらうから、ゲリラ戰の海上にあつては危險の分散の效果もあつて戰時下における木船建造は單なる鐵船の代用品ではなく木船獨特の使命をもつのである





寫眞＝組立てられる木造船と働く戰士【右上】技師の指圖で働く職工【上】組立作業【下】船内での作業

大切な龍骨材

造船材は大別して堅材と柔材とがある、柔材としては、松、杉、檜などが秀れ、堅材としては、欅、樫などが最も適してゐる、堅材は船體のうちとくに強力を要する部分、即ち船首、船尾、舵柱等にのみ用ひ他はことごとく松、杉の柔材を使ふ、この割合は松材六十パーセント、杉材卅パーセント、その他つまり堅材十パーセントである

南方ではラワンが造船材として使用され、チーク材は秀れてゐるが堅過ぎる、木船は何はともあれ材が肝腎で、今後木船で南洋方面に進出するとすれば木材は朽ち易いから伐木の時季が問題となる、船材は年輪が緻かで年輪と年輪との間のワタメの堅いものほど良材なのだ、芽のふく成長期に伐木すると乾燥するから運搬に都合のよい一月から十二月までが最適である、松材は四月に伐ると建築物には色艶が出て珍重されるが、これも十月から十二月までの間で北むきの山より南むきの低い山のものが良材である、戰ふ船を作るためには祖先傳來の名木も供出を望まれる昔の船大工は一山買切つて山一番の良木を選び、十間以上もある通しの龍骨を自慢にしたのも名人氣質だつた、然し大量生産の急を告げるいまは通しの龍骨材はなかく難かしい、そこで三間材、四間材、五間材を繼いで強度を得ねばならない、ここに木造船工學の使命がある、船の脊骨ともいふべき龍骨から横に出て上方へ彎曲して舷側の形をつくる肋骨は、六十度に天然的に曲つた幹、幹から枝へ、幹から根への天然的曲材を用ひたのであるが、注文通りの曲材は、さうさらにあるものではない、そこで蒸曲げ、焼曲げなどから、ベニヤ板様の組合せ材をローラにかけて曲材を作らうとする方法もある、もつと手つ取り早いのは曲材を使用せぬことなのだ、平たい船底と眞つ直ぐな舷側とが角を作る、その角の部分の構造に新しい考案を加へた設計が、組立建造法で第二次海務院型なのだ

建造組立も簡單

組立建造とは機械力を最高度に應用する新しい建造法で、山元に製材設備を据ゑつけ素材に帶狀鋸、丸鋸をかけその場であらましの部材を作り、これを造船所に運び、ほとんどそのまゝ組立て得るやうな仕組である、今までの造船法では中級の機械設備と技能により二百五十トン級の木造船を建造するのに〇〇人の船大工で先づ〇〇日はたつぷりかゝつた、だが組立建造では同じ人數でその半分の期間に仕上げる建造速度が期待される、また素材〇千〇百石から〇千〇百石を要し仕上り石數はその約半分ぐらゐに減ずるのが通例であつたが組立建造では素材と仕上りの過程の木材消耗を限度に縮め歩止めを最大にする努力が拂はれてゐる

和洋船型は船首を洋船の型にとり船尾を和船の型にしたものであり努力資材に於て從來の七掛で建造し、しかも完全なもの〇〇を上る、標準型は努力を食ひ資材を費し重量物の積載があやぶまれるが、和洋型はこの缺點を一掃して近海航路に乘出さうといふのである

大量生産誂向き

昔は千石船といつたが木船の大きさはどの位が適當か、純木船では長さにして卅米餘り、二百五十噸が標準で、これ以上三百噸、五百噸となると木鐵交造、つまり鐵で骨組をつくり、木で周圍を張る、前大戰當時の好況時代には千噸に餘る大木船を造つたがこれは肋骨に鐵材を斛交して補強するなど特殊の構造で手間が大變なもので緊急の大量生産には緣が遠い、小型船を多數に運航する〃海のトラツク〃が現在の時勢に必要なのだ、二百五十噸の船では船員十三人から十五人が乘組み、船室は船長室、機關長室、船員室ぐらゐなものであとは船艙二百〇〇から〇〇馬力の推進機關を取付けるのが普通で、木造船につける機關は所謂〃燒玉エンジン〃で燃料は重油を使ふが、機關の構造が非常に簡素でしかも堅牢強力、木造船にうつてつけのものである

速度は滿載で〇哩は楽に出るのだから大した代物であり鋼船に比べて木船の積載量は意外に大きい、木船は上昔式といつて簡單な雨覆をかけ甲板上に船艙の三分の二の荷を積むことが可能なことゝ、いま一つは木船の船頭は一般に練達者が多く、危險な荒海を乘切る獨自な航海術を心得てゐるためである、重量物は大體總噸數の一倍半、輕貨物で總噸數の二倍である、二百五十噸級で四百噸ぐらゐの積載量があるから十五噸貨車廿七輛に相當する昔の千石船は總噸數にするとざつと百噸になる

強敵は船喰虫

二百五十噸級の木造船で平均壽命は經驗的にみて十年前後である、勿論手入れと航海條件によつては廿年、卅年と保つこともあり、逆に五年三年で破損する場合もあるが、この問題は必然つぎの塗料の問題に關聯しなければならない、特に船材は水分を吸ふため塗料が多量に必要なのだ、木造船は鐵船に比して船舶の腐蝕は如何にして防ぐかが死活問題なのだ

從來は多少贅澤な船には〃ふなくひむし〃除けに船底に薄い銅板などを張り廻したが、この方法は現在では出來ない相談で、これに代る銅イオンを遊離する特殊な木船船底塗料が使用されてきた、また一方防腐と附着生物の防止とを兼ねる、主に松脂とベンゾールを原料とする塗料の研究が進められてゐる、昔から用ひられた〃ふなくひむし〃除けに〃包み板〃といふのがある、木質は何でもよいから外板の上面を薄板で大體吃水線まで包むのである〃ふなくひむし〃はこの薄板を喰ひ荒すが絕對に船底までは侵蝕しない〃ふなくひむし〃は五寸の船板に喰ひつくと四寸九分九厘まで、一尺の船板なら九寸九分九厘までは侵蝕するが、あとの一厘には絶對に穴をあけない、船虫の習性を巧に利用した原始的船底防蝕法なのである〃ふなくひむし〃は船體の強度を著しく破損する害虫であるがこの外に船足を鈍らせるものにカキ、フジツボなどがある、作戰にも船、生産にも船、大東亞建設にも船である、わけても物資動員計畫の圓滑なる遂行、戰時經濟力の強化擴充は船舶である先づ船だ、船を殖やさうと全共榮圈内に亘る津々浦々の造船所では龍骨を鍛へる逞しい槌の音が滅私奉公の造船戰士の尊い汗に混つて頼母しく高らかに響きわたつてゐる

大いなる祭【107】

中野實（作）　三芳悌吉（繪）

犧牲者（五）

時をうつさず、日本當局の手によつて、その夜の料理は細密に分析され、料理人と給仕は一應へ監禁された。

外職、歐大鑒夫妻の身邊に對しては、廣東到着後、あらゆる保護と警戒の手がつくされ、日々の料理さへ出來上つたものは、必ず毒味の上食卓に出すことになつてゐたのであるから、今夜にしても、もし料理の中に毒が混入されてゐたとすれば、事件後、調理場から食堂へ運ばれるまでの間に、何者かの手によつて投入されたと見るべきより外はない。

分析の結果、歐大鑒の日頃の好物である鯉の甘煮の中から砒素が發見された。いつもなら外の料理には手をつけないでも、必ずこれにだけは箸をつける歐大鑒が、廣東市長陳氏の電話口にたつて、偶然にもこれに手をつけず、冷めない中にと先へたべた歐夫人が五分とたたない間に冷い死骸と變りはてたのである。醫師が駈けつけた時はもう手のほどこしやうもなく、夫人は『子供を……子供と[illegible]に……たつた……たつた一目……』と苦しい息の下から香港に殘して來た子供達の身の上を案じながら、もがき死にに、息をひきとつた。

日本當局と、省政府の保[illegible]

つて、料理人を始め、給仕、召使、その外、この家に出入する中國人に對して、きびしい取調べも行はれた。

取調べの結果、料理人四人の内もつとも歐大人にその腕前をかはれてゐた崔といふ男が、食事の仕度をすますと、警察に取込みがあるからといふ口實で暇を貰つて出かけたといふことが判明した。

『そいつだ』

いち早く急をきゝつけて駈けつけた井關俊六は劉青年の報告に接してさう斷定した。

『が、まづ順序として君にその危急を報らせた女といふのは誰なんだね』

『羅玉英です』

『羅玉英……』

『あなたも御存じと思ひますが、あの羅建毅の妹です』

『さうか……』

はじめて井關は、英子が廣東へ乘込んで來て居り、そんな敵方の秘密をかぎつける程働いてゐることを知つた。

『で、その玉英の居所は』

『私もその話を聞いた時は半信半疑だつたものですから、その結果について、明日また文園で會ふことになつてゐます』

『さう。僕も會つてみるよ』

『井關さん。玉英さんは別に怪しいとは思ひませんが……』

『判つてゐる。何處からその話を聞き出したか聞いてみるだけだ』

井關はなるべく英子との關係を誰にも知らさない方が得策だと思つた。

恰度、その時片隅の電話のベルがけたゝましく鳴つて、電話口へ出た劉が井關に、

『井關さん、あなたに電話です』

『誰だらう』

『美々といふ女の人からです』

『美々』

急いで受話機をとると、たしかに美々の聲で

『井關さん。そつちに何かあつたでせう。崔といふ怪しい男を今私つかまへてゐます』

改訂版 直接發賣元へ申込め
愛國百人一首わかり
◉戰時版愛國かるた附
陸軍大將 荒木貞夫 題字
文學博士 藤村作 監修
定價一圓（送料八錢）
作者の傳記・精神・文意を誰にも一讀判り易く平易に説明せる國民必携の決定版。愛國心の喚起は先づ本書から
解答・受驗・慰問に是非一冊
發賣元 東京市 建軍精神普及會

三陟郡の展望（其一）

江原道 道内の雄郡

三陟郡

畑山郡守以下の督勵指導

地の利と資源の獲得、天賦の好條件に惠まれて急速度に發展して來た、鐵を筆頭に各種軍工場の進出に依り内鮮國防政治經濟の中心地として將又最近益々盛なる漁業を示しつゝある各種工業の勃興と相俟つて振古未曾有の歷史的一大躍進を展開せんとしてゐる。三陟郡は一邑八ケ面にして七十三ケ里あり平野に乏しく山岳は重疊して元來殿より山漁に惠まれた郡なのだ、それが昭和十一年以來地下資源開發等によつて各種工業の勃興をきたすに至り工場、會社、鑛山等の設立と相俟つて人口は實に六割八分の大增加を來し一躍江原道内に於ける産業經濟の中心を占むるに至つた、本郡の一般民心は平穩素朴なるも近年地方開發に伴ひ外來者の激増するに從ひ諸事業の勃興に伴ひ[illegible]も事變勃發以來總力聯盟の展開と共に克く時局を認識し勤勞奉公に努めつゝある、

國民總力聯盟推進狀況は大東亞戰爭下國民の日常生活を要請し聯盟の國民皆勞化指導の實を擧げるべく總力聯盟は一層强化なる指導方針に則り畑山理事長及高木[illegible]自ら指導陣頭に立ち淺田、金田兩理事官を始め各課長及郡農會、國民總力聯盟の指導班を結成し各地方に巡廻し實踐の効果に努めつゝあり、殊に地下資源と時局的工場地帶を擁し勞務資源の調整に特段の努力を拂ひ就中增產供出に於ては他地方に比較して耕地の狹少なるにも不拘全能力を集中し本年も尙又生業擴充にも全力を集中し食を忘れ、よくも旱害を克服し增米目標の達成▲田畑作の增產▲纖維作物の擴張▲蠶繭の增産▲麥作の增產▲自給肥料の增産▲畜產增殖▲桑園の肥培管理▲新炭の統制▲家兎の增產▲水產物の增產▲小家畜の獎勵▲林產物の增產▲棉羊の加工指導に拍車をかけ最大の生產少なる農耕地より最大の國策資源を圖り畑山郡守を始め郡職員は日夜寢食を忘れ國策に協力してゐる、殊に常會の効果を擧らしめ增產の徹底に付ては郡當局に於ても國民貯蓄[illegible]當貯蓄額は二百二十萬圓なるに十一月末現在に於て完全に目標額を達成しあり國民貯蓄の餘裕を消化して銃後國民の眞心を振興しつゝあり▲常會の運營に付ても畑山理事長以下全職員總動員して各擔當部落に出張現地指導をなしつゝあり、その他に時局認識の徹底、婦人指導の啓發、國語普及の徹底を遂げ一番議定實踐に邁進しつゝありこれのみならず郡民多年の懸案とする▲東海岸線鐵道の敷設促進▲汀羅港の改築▲上水道の敷設▲市街地の整理等が實現した曉其の前途は洋々として輝かしいものである事を想像されて一刻も早く實現の速かならん事を切望してやまない

三和鐵山鑛業所

高潔なる佐藤所長のもとに渾然一體

決戰下『勤皇產業精神の昂揚』鑛立を目標に『勞務者は山の寶なり』の信條によつて佐藤所長を棟領に一勞働者に至るまで眞に全山一家の渾然總力振りを發揮しつゝ產業戰士の誇りに燃へて增產の歩も逞ましいここ純國粹鑛山三和鐵山は江原道三陟郡北三、末老、下長の三ケ面に跨り廣範の鑛區を持し、現に登錄鑛區六、出願四十九鑛區を所有してゐる、同鐵山は大正十五年十月に開鑛登錄して以來重要鑛山としてその開發に對しては愼重積極的に援助を受ける外、あらゆる點に特別の助長を講ぜられつゝあり本年度に於て鐵山道路建設に數十萬圓を投じ目下鐵山への送電線の工事が進捗しつゝある昨十七年九月東拓よりの大資本によつてここに劃期的增產計畫は樹立されて多大の期待をかけられてゐる、產鐵は北坪驛から三陟鐵道によつて墨湖港に搬出されつゝあるが、北坪と鐵山間は來年度上半期中に輕便鐵道を開通すべく目下その準備も着々進められてゐる、同鐵山は

古來から鐵器の產地として名があり、鑛區内隨所に往時簡易ながら製鍊してゐた跡が殘つてゐる、前期第一次歐洲大戰當時九州麻生氏の一族麻生音波氏が東拓援助のもとに一大開發を計畫したこともあつたが、企業者の急逝と間もなく大戰の終結とにより、遂に着手するに至らず、漸く昭和十三年秋以來、現經營者に於て前記東拓鑛區並に附近接續の鑛區五十餘を苦心の結果、數十名の各所有者から逐次買收全部一括したうへ、同十四年六月から採鑛を開始し、同十五年七月から漸く採鑛選鑛運搬等の諸設備に着手したもので、爾來これら諸施設の建設に鋭意邁進し同十六年八月から一部内地向出鑛を開始するに至つたものである

鐵山鑛床は鑛區内東部及東北部一帶に賦存する石灰岩と、之を破つてその西部に迸進せる花崗石英斑岩との接觸面に交替作用により生成せる大磁鐵鑛床にして延々南北に連らなり其の埋藏量は殆ど無盡藏と云はれる程である、其の分析は理學士長塚順次郎氏調査によると三千萬噸以上にして、鐵石は粗粒狀の分子によつて構成されて粉末は殆ど出ず鐵含有量は四五%乃至六八%

であるが銑黄の含有量は極めて少く且つ熔融劑として製鍊上不可缺の要材たる石灰を一五%含有し居る。然もその含有量は有しゐて製鍊上極めて價値高い優秀自熔鑛である特別精鑛は低燐銑原料にして燐硫黄の含有量極めて少きことと、滿俺含有量甚だ豐富なることにより特殊鋼原料として極めて優秀な低燐銑を製產し得る、普通精鑛は一般製鋼用、鑄物用、銑鐵の原料であるが、これも一般鐵鑛石に比し燐、硫黄の含有量が甚だ少く且滿俺含有量多量なるをもつて最優良銑鐵を製產し得るものである、殊に本鐵山鑛石は珪酸に對する石灰の含有量は最良の比率なるため、製鍊に際し多量の石灰石を添加する必要なく從て爐内に裝入し得る鑛石の量はそれだけ多くなり、なほその石灰は鑛石中に普遍的に分布含有し居るため、彼の一般鐵鑛石の如く石灰石と別々の個形にて熱還元せらるゝに比し還元作用は著しく迅速である、この二つの長所により同一熔鑛爐に於ける處理鑛量及出銑量は一般鐵石の標準品位鐵四五%、珪酸三〇%のものは處理量增加率約九六%出銑量增加率約九六%である、所長佐藤正一氏は明治四十二年一月生れの若年輩にして性來溫厚篤實なる人格者で牢固不拔の信念を有し一度事に當れば必ず初志を貫徹せずば止まぬの氣概の持主で、一面部下を愛すること我子に對するごとく、氏の獨得な技術と國粹魂に基く『聖戰貫徹の挺身增產』の日常標語を日訓として孜々營々とし堅實に働く氏は昭和三年三月三井工業學校採鑛科を優秀成績で卒業後、岩手縣釜石鑛山株式會社に入社鑛業界に多大なる功績を殘し昭和十五年一月當三和鐵山開發の爲、渡鮮就任以來、鑛業增產に全力を傾注すると共に現場休憩、夜學等を利用して勞役者の國語習得に努め、學齡過兒童のため三和國民學校附の私立學院を設けて文盲退治に努め、全從業員に對しては軍隊式の訓練を施し渾然一體の團結を固く結んで、敬慕し克くその命令一下に服從するは勿論、氏の人となりは一般社會民からも敬慕と信任の念が厚い【寫眞＝佐藤所長】

三光醫院

三原敏正氏

地方刀圭界の中堅として郡民の信望も厚く身は〃醫は仁也〃の傳統的精神を發揮して醫路報國に挺身躬行しつゝある三光醫院の院長三原敏正氏は昭和六年旭醫專を優秀な成績で卒業し直ちに元山救世病院内科勤務を始め遂に寧郡公醫及び現地開業の經驗を持つて昭和十年五月三陟鐵道囑託醫となり爾來鐵道を根城に努力ひたすら天賦の達成に精進勤斯くて昨十七年四月大東亞戰下人的資源の確保愈よ緊切なる際鑑し健民運動の推進的一大決意の下に邑内の要所に三光醫院を開設し身を以て醫は仁也の親切振りを躬行し兎角恵まれざる地方大衆の健康增進に寄與貢献する處少くなく殊に内科及小兒科醫として名聲を擧げつゝあり（寫眞＝三原院長）

三陟漁業組合

水産江原の華

三陟漁業組合は大正三年二月の設立に係る汀羅漁業組合を母體として昭和七年十一月三陟漁業組合に改められ現在に至つた組合員は專業者百七十名、兼業者百六十二名計三百卅二名にしてその年產總漁獲高約百數十萬圓に上る現理事上村初藏氏は昭和十五年十二月着任するや副理事金川幸弘氏と共に獻身的指導督勵に努め即ち業者の自覺を啓發すると共に一方技術の向上、漁具類の改善、經營の合理化に重點を置き加ふるに、低利資金の融通、多角形漁業の獎勵、勤勞好愛副業の獎勵、備荒貯蓄もしくは制度の確立に專念努力を傾け更には簡易保險の加入勸行等漁村振興に又組合地區内各所に船溜あるひは小漁港の修築運動をなし挙て水産報國の實を昂揚せしめた

同組合の中堅人物▲三陟邑汀上里金澤一成氏は明治卅四年生れ機船底曳網、機船巾着網、漁業とともに鰯油肥製造業水産加工業等を營む傍ら本組合長三陟邑會議員、道水產會議員等の要職に携はる地方的有力者でもある▲三陟邑南陽里羅井龍馬氏は機船巾着網、各種定置漁業をはじめ鰯油肥製造、水產物加工業等を經營又江原道會議員とともに東海興業株式會社重役其の他各種會社の重役等を勤め社會公共のため奮闘する處勘い本年卅七の壯年活動家で▲三陟邑汀上里金山拓世氏は大正五年生れの本年廿八歲の少壯ながら實父金淳默氏の遺業を繼いで機船底曳並に巾着網鰯油肥製造加工の外各種定置漁業を營み前途囑目される一人▲三陟邑汀上里大隆茂弘氏は定置漁業の外油肥製造、加工、定所曳網漁業の傍ら問屋業を營む青年事業家で又三陟漁組の通常議員でもある▲同大和水產株式會社は鰯油肥製造及水產物加工業を主として營業し其の販路は慶北及内地にまで延び輝かしき業績を收めつゝあり社長味澤二三郎氏は熊本縣の人溫厚篤實にして而も精通せる其の手腕は地元氏の信望が厚い▲同三水組代表金澤龍澤氏各種定置漁業機船流刺網漁業、鰯油肥製造業水產物加工業等を經營し現三陟邑會議員、三陟漁業組合議員、江原道水産組合議員等の公職に携はり氏の活動に依り事業は何れも順調なる發展を遂げ三陟地方になくてはならぬ事業團體の一つ▲理事上村初藏氏は今年四十七歲の働き盛り熊本縣に生れ永年朝鮮警察界に貢獻し昭和十二年退官と同時に漁組合入り長箭組合書記から當組合理事に拔擢され以來孜々營々協勤精勵組合の健全發達並組合員の福利增進に寄與する處尠くない▲副理事金川幸弘氏は蔚湖漁組書記から身を起し副理事にまで昇進した當年廿歲の新進氣鋭の逸材で將來ますく囑目されてゐる

京日案内
案内料金（前金）
種別	一件一回税込
一號型（三行）	金參圓參拾錢
二號型（五行）	金五圓五拾錢
三號型（十行）	金拾壹圓
求職一號型	金壹圓六拾五錢
姓名占料 毎回	壹圓六拾錢增
締切は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

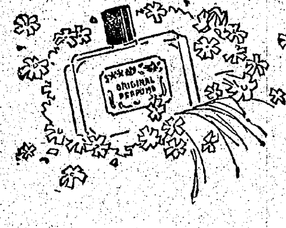
一號型（三行）
ピアノ讓る 御希望の方は左記へ 貞洞町一ノ八 南工務店
女中入用 家庭的の方希望 年齡二十歲から三十歲迄 明治町二丁目四〇 天ぷら
讓店 府内旭町 商店向 電話本局 二五七番へ
求住 宅 府内附近 電話光化門 二六〇へ
果樹 苗木 二年生 電話東局 二九一 金山

二號型（五行）
貸家求む 家賃一五〇圓迄 當方本町二丁目 家族三人 成町都心
守衛募集 身體強健 五十歲迄 京城府 株式會社
募集 女子 仁川府
女子 年齡二十歲迄 九州人
女子事務員採用 京城府 株式會社
小型乘用自動車 代替 至急讓り受け度し 電話本局 四七二六番へ

三號型（十行）
男女事務員募集 鐘淵朝鮮販賣株式會社
電話交換手採用 朝鮮船舶運航統制會
タイピスト採用 アサヒゴム 京城出張所
野菜種子專門 カタログ進呈 大陸種苗園
古本 高價買入 金剛堂書店
プリント（謄寫印刷） タイプ印刷引受 明治町二ノ三
馬具 白川馬具商店
花柳病專門 松野醫院
古着 高價買入れます
荷造ご運搬 資材完備 紀新組
タイプ印刷引受

鍾路文化劇場 二十六日ヨリ三十一日 我が家の春 子供ごころ ホームグラフ 望遠鏡 日本ニュース
明治座 積雲 日本ニュース 風雪の春
京日文化劇場 二十九日ヨリ四月四日迄 乘馬 街の彈丸 御民われ 日本ニュース 最新版
若草劇場 三月二十九日より 積雲 日本ニュース 風雪の春
城南劇場 二十七日ヨリ二十九日迄 日本ニュース 文化 マラリヤ物語 日活新特作 英雄峠
中央劇場 二十七日ヨリ二十九日迄 日本ニュース 海軍體操 花嫁と劔法 さつまいも 太平記
和信映畫館 三月卅日より四月五日迄 日本ニュース ホームグラフ 日本少年 工場看護婦 御民われ
朝日座 廿七日より東京大歌舞伎 尾上菊右衛門 大一座
桃花劇場 廿八日ヨリ三日間 劉忠烈傳 貧富
大陸劇場 廿五日ヨリ 日本ニュース 雪の國境 虚無僧系圖
浪花館 二十七日より ニュース 岩と氷 エノケンのワンワン大將 三下劔法
新富座 二十八日ヨリ三日間 日本ニュース 洪吉童傳 大盜傳
東洋劇場 二十八日より四月一日迄 青春座公演 牡丹の花 三幕
喜樂館 二十五日より 日本ニュース 雪の國境 虚無僧系圖
京劇 二十九日より 日本ニュース 海の探求 家に三男二女あり
城寶劇 二十九日より四月四日 日本ニュース 海の探求 家に三男二女あり

京都東大映心大野 作
風雪の春
本日封切
流麗な書調に、働く人々の美しさを！青春の哀歡を清らかに此の様に描いた映畫があつたゞらうか！
文部省推薦 農林大臣推奬
宇佐美淳 加賀邦男 美鳩まり 丸山定夫 猪俣勝人 岡田豐 落合吉人
明治座 若草劇場

原料香水 よしかほりの永く保つ
オリヂナル香水

名香三十八種が渾々と調和している花精その儘の感じの香水！
東京・日本橋・本石町 本舖 株式會社 安藤井筒堂

月經痛にネオセドノン

瑞穂春海演出
家に三男二女あり
若人の世界にみち溢れる生活の悦び春の魅力を一手に浚つた力強い人生行進曲！
河村黎吉 大阪志郎 吉川滿子 水戸光子 笠智衆 坂本武 土紀杉一 三浦光子
廿九日封切
京城寶塚劇場 京城劇場